

教育委員会の事務の管理及び執行状況の

点検及び評価の報告書

令和3年度対象

30th Anniversary



千葉県30番目の市の30周年
Yachimata City Since 1992



八街市教育委員会

令和4年9月

目 次

八街市民憲章、青少年健全育成都市宣言	1
やちまた教育の日、市の花「ヒマワリ」制定	2
総括 1. 点検評価の目的及び対象	3
2. 点検評価の期日	3
3. 点検評価の方法	3
4. 令和3年度事業の概要	4
5. まとめ	4
事務事業評価一覧表	8
教育委員会の事務事業評価シート	
1. 教育委員報酬	13
2. 教育委員会諸費	15
3. 教育委員会事務局諸費	17
4. 小学校施設整備事業費	19
5. 小学校管理諸費	21
6. 小学校施設維持管理費	23
7. 小学校体育館トイレ改修事業費（明許繰越分）	25
8. 中学校施設整備事業費	27
9. 中学校管理諸費	29
10. 中学校施設維持管理費	31
11. 中学校体育館トイレ改修事業費（明許繰越分）	33
12. 中学校施設改修事業費	35
13. 幼稚園施設整備事業費	37
14. 幼稚園諸費	39
15. 幼稚園施設維持管理費	41
16. 教育指導諸費	43
17. 外国語指導助手事業費	45
18. 教育支援センター管理運営費	47
19. 通学路安全対策事業	49
20. 教育センター運営費	51
21. 育て八街っ子推進事業費	53
22. 小学校教育振興費	55
23. 小学校教材備品等購入費	57
24. 小学校理科教育振興用備品購入費	59
25. 小学校児童援助奨励費	61
26. 小学校ICT環境整備事業費（明許繰越分）	63
27. 中学校教育振興費	65

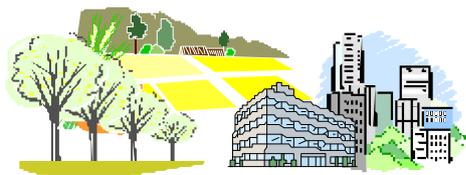
28.	中学校教材備品等購入費	67
29.	中学校理科教育振興用備品購入費	69
30.	中学校生徒援助奨励費	71
31.	中学校 I C T 環境整備事業費（明許繰越分）	73
32.	学校保健管理費	75
33.	学校保健諸費	77
34.	学校保健特別対策事業費	79
35.	教育支援体制整備事業費（幼稚園感染対策）	81
36.	社会教育振興費	83
37.	青少年健全育成費	85
38.	文化財保護費	87
39.	中央公民館管理運営費	89
40.	中央公民館整備事業費	91
41.	図書館管理運営費（施設の維持管理等）	93
42.	図書館管理運営費（資料収集、読書の普及、利用促進）	95
43.	図書館整備事業費	97
44.	視聴覚教材費	99
45.	郷土資料館管理運営費	101
46.	市史編さん費	103
47.	学校開放推進費	105
48.	保健体育総務費	107
49.	体育振興費	109
50.	体育施設維持管理費	111
51.	スポーツプラザ管理運営費	113
52.	スポーツプラザ整備事業費	115
53.	学校給食センター一般管理費	117
54.	学校給食センター調理場維持管理費	119
55.	学校給食センター調理場給食事業費	121

八街市民憲章

わたくしたちの八街は、開拓の歴史と恵まれた自然環境の中で、先人の努力によって栄えてきたまちです。

わたくしたちは、「ヒューマンフィールドやちまた」を目指して、調和のとれたよりよいまちづくりのために、この憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう。
1. 自然を大切にし、潤いのある美しいまちにしましょう。
1. きまりを守り、明るい住みよいまちにしましょう。
1. おもいやりのある、心のかよった豊かなまちにしましょう。
1. スポーツに親しみ、健康で働くたくましいまちにしましょう。



〈平成4年9月28日制定〉
八 街 市

青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを大きく発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは、市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。



〈平成20年3月19日制定〉
八 街 市

11月12日は「やちまた教育の日」

八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいだき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。



〈平成22年4月1日制定〉
八街市教育委員会



市の花『ヒマワリ』



市制施行20周年の節目にあたり、市の花を「ヒマワリ」に指定しました。

天に向かって一直線に伸び、鮮やかな大輪の花を咲かせるイメージから『【ひ】かり輝き、【ま】わりを照らす、【わ】たしもあなたも、【り】っぱに育てよ』と、次代を担う子どもたちへの思いを込め、「ヒマワリ」が市の花に決定しました。

〈平成25年2月1日制定〉
八 街 市

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項 に基づく教育委員会の点検及び評価について（総括）

1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、本年度も令和3年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

その他、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校及び教育施設の教育委員会訪問を行いました。その際、授業や施設の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校及び教育施設の状況を把握することに努めました。

2. 点検評価の期日

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ①担当課による一次評価 | 令和4年6月16日 |
| ②教育委員会による二次評価 | 令和4年7月29日 |
| ③教育に関して知見を有する者を活用した外部評価 | 令和4年8月29日 |

3. 点検評価の方法

令和3年度の点検及び評価の実施にあたっては、「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートにより評価を実施しました。

事務局等の評価は、一次評価として位置づけ、関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

二次評価については、昨年度と同様、教育長及び教育委員4名による評価とし、シートの評価欄については、5名の評価を取りまとめた判定結果を4段階（A, B, C, D）で記載しました。

さらに、この評価結果について、教育に関し学識経験を有する方2名の知見を受け、事務事業の外部評価としました。

二次評価及び外部評価の結果一覧については、8ページから10ページに「事務事業評価結果一覧表」として記載しました。

4. 令和3年度事業の概要

八街市教育委員会では、令和3年度においても、八街市総合計画2015における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の実現に向け、重点施策として、「八街市教育施策」においても取り組んでいるⅠ『子どもの教育・健全育成の充実』、Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』、Ⅲ『市民文化の創造と継承』、Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開しています。

施策がめざす基本的方向として、次の方針に基づいた事業に取り組んでいます。

Ⅰ『子どもの教育・健全育成の充実』

子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、八街の特色を活かした教育活動や学習環境の充実を図ります。また、学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの青少年健全育成に努めます。

Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』

生涯学習社会の形成を目指し、さまざまな学習活動の支援と学習成果を生かすことの出来る機会づくりに努めます。また、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充を図ります。

Ⅲ『市民文化の創造と継承』

市民の芸術文化活動を支援し、発表や交流の場を拡充するとともに、八街の歴史文化遺産の保護・継承と活用に努めます。

Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』

国際交流、地域交流、世代間交流を推進し、広い視野を持つ人材の育成や、人々が交流する場の提供に努めます。

5. まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価一覧表のとおりです。

教育委員会の令和3年度に執行した事務事業については、総じて厳しい財政状況の中で、工夫・努力し推進しており、全体を通して事務事業において概ね適正であったと評価をいただきました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止、縮小せざるを得ない状況のなか、感染対策を講じて、創意工夫をしながら事務事業を執行できたことについては、高い評価をいただきました。

外部評価としては、平成22年度（平成21年度実施分）から2名の方に依頼しており、それぞれの評価を記載しました。

二次評価（教育委員）の意見等

- ・コロナ禍で「育て八街っ子推進事業」「青少年健全育成事業」が思うように活動できておりませんが、事業内容も見直す時期にきているとも感じる為、時代に即した事業内容を検討することも必要だと考えます。
- また、視聴覚教材についても時代に即した活動や機器となっているのか、再考の必要性を感じます。
- ・コロナ対策の臨時交付金の活用により体育館トイレの改修を進めたことは、子供たちにとってはもちろんのこと、災害時に避難所として利用することになる市民にとっても有益であると考えます。
- ・昨年6月の下校時の児童の交通事故後、安全を確保するためにスクールバスの導入や通学路の見直し等、数々の安全対策事業を実施して参りました。それにより、子供たちの登下校時の安全は以前より確保されてきていると感じます。さらなる安全対策の推進と安全教育の充実を願います。
- ・限りある財源の中で職員が努力し、事業がほぼ計画通りに執行されていると考えます。なお、昨今のコロナ禍の影響で予定通りにならない事業も多く、大変な思いであったと思料されます。今は一日でも早いコロナ一掃を願うばかりです。
- ・コロナ対策をふまえた活動など配慮が必要な場面がまだ沢山あると思われませんが、引き続きよろしく願いいたします。また、子供たちの安全対策について、より一層の推進を願います。

外部評価の意見等

- ・小学校施設維持管理費、中学校施設維持管理費、幼稚園施設維持管理費に記載されている「福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定」の実施について、今も続ける理由や根拠のコメントがあると良いと考えます。実施の根拠が希薄であるならば代表地点1箇所の測定でも良いのではないのでしょうか。
- ・通学路安全対策事業費について、朝陽小学校の児童死傷事故を受けて、スクールバスの運行という最も効果的な交通安全対策をスピード感をもって実施された事は、極めて高い評価に値すると思います。
- ・教育支援センター管理運営費について、カウンセラーは発達障害のある児童や知的に境界領域にある児童、母親に精神障害があって児童にも障害が疑われるケース等様々なケースに対応されていると思われませんが、できる限りソーシャルワークの必要なケースにも関わっていただき、複合的な課題を抱える児童に対する支援策を自らも考え、コーディネート力を高めて頂きたいと考えます。
- ・青少年健全育成費について、コロナ禍にあって集合形式による成人式の実施が危ぶまれましたが、感染防止対策を講じたうえで二部制で実施出来たことは喜ばしいことだと思います。また、中央公民館管理運営費について、動画配信による学習講座を4講座企画し、多数の視聴があったことも素晴らしい

く、今後も「市民のニーズや時代にあった主催事業」を展開していただきたいと考えております。

・有史に残るコロナ感染症の対応２年目、「学びを止めない」を合言葉に行政・学校・家庭・地域の連携が鍵となる１年間でした。多くの試行錯誤の日々、日常のよりよい関係性が功を奏したのではないかと考えます。また、６月２８日の朝陽小学校児童の交通死傷事故は、飲酒運転の営業トラックが引き起こした悲惨なものでありました。全ての人々が、生命の大切さ、きまりや法律を守ることの大切さを我が身のこととして考え、実行していくことを強く決意したいと思いました。

・小学校体育館トイレ改修事業費について、懸案事項であった小学校のトイレ整備は、児童の良好な学校生活、避難所となるケースも含めて考え、大いに評価できると言えます。

・教育指導諸費について、児童生徒の心を受け止める、受容・肯定・励まし等から児童生徒の心の安定が図られ、健やかな日常生活を送ることができます。そのため、教育センター・学校との連携が楽しみです。

・外国語指導助手事業費については、給食や清掃、学年・学校行事等と同様に、小学校英語とALTの活用についてもコロナ禍による制限がありますが、積極的なALTとの交流が人間関係をつくり児童の意欲を促しているように感じます。

・教育支援センター管理運営費について、学校復帰は人格形成・将来の社会参画への大きなエネルギーとなります。担当者の地道な努力には頭が下がります。指導教室への通所、個の理解を深めたご対応をお願いいたします。

・通学路安全対策事業費について、安心安全な街づくり、児童生徒の環境・指導のあり方、八街市通学路交通安全プログラムの会議における話し合いを基軸にハード・ソフトの両面から交通安全や、人に優しい街づくりに挑戦したいと考えます。

・教育センター運営費について、教育指導諸費でも触れた教育センター・学校との連携、また日常性をどう構築していくのかということが気になります。児童生徒の学習に楽しさ、理解が深まることを期待します。

・小学校教育振興費について、「児童生徒の読む力の育成は急務」であります。小学校は学び初期段階であるため、ここでの読む力の育成に各小学校、国語科のみでなく、全市をあげて、注視・日常実践をしていただき、環境等の整備を進めていただきたいです。

・小学校児童援助奨励費、中学校生徒援助奨励費について、制度のPR、広報の日常化について評価いたします。基準の厳格化については、引き続きご対応をお願いいたします。

・中学校教育振興費については、前述いたしました、「読む力の育成」を幼小中高の連携で突破していただきたいです。

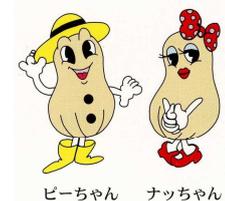
・学校保健管理費について、マスクの下の表情・笑顔は・・・？という言葉をよく耳にします。すべての児童生徒、教職員の健康・安全は、教育の原点です。管理職のみならず、学校医・行政を頂点にした学校保健の根幹を維持

していただきたいです。

- ・社会教育振興費については、「学びを止めない」を社会教育でも展開し、オンライン等での事業の実施について評価いたします。withコロナ時代を会話や知恵で切り拓いていただきたいと考えます。
- ・青少年健全育成費について、こども110番支援事業を中心に、地域のこども支援に心から感謝を申し上げたいです。”自助・共助的”な理解・日常活動を官民共々に続けたいものです。
- ・文化財保護費について、台風被害後の資料館のあり方検討会、学校・地域連携の中で、ふるさと八街を拓く施設となることを願っております。
- ・中央公民館管理運営費について、公民館はコロナワクチン集団接種会場として大変でしたが、関連施設や地域との利便性を図り、最低限の活動場所確保に努めていただきました。
- ・公民館整備事業費について、児童生徒の読む力の育成は市民全体と共に行っていくものと捉え、図書館の効果的な活用と、図書を楽しみ喜びを育む事を意識して引き続き環境づくりを行っていただきたい。
- ・体育振興費については、続くコロナ禍の中で、集団での大会等は控えられました。しかし、散歩や個人・小集団で行う健康づくりや健康維持についての意識は向上しており、関係課との情報PRが功を奏していると感じております。
- ・学校給食センター一般管理費について、徴収対策は、3課協力の対応が徴収率を上げていると考えます。
- ・学校給食センター調理場給食事業費について、”食は命”安心安全な給食づくりに心より敬意を表します。様々な課題、燃料・物価高がありますが、給食主任会等の情報交換の中で、育て八街っ子の食を支えていただきたいです。

※この評価結果につきましては、ホームページで公表しております。

八街市のイメージキャラクター



事務事業評価一覧表 〔令和3年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
1	9	1	1	教育総務課	教育委員報酬	A	A	A	A	A	A	A
2	9	1	1	教育総務課	教育委員会諸費	A	A	A	A	A	A	A
3	9	1	2	教育総務課	教育委員会事務局諸費	A	A	A	A	A	A	A
4	9	2	1	教育総務課	小学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
5	9	2	1	教育総務課	小学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
6	9	2	1	教育総務課	小学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
7	9	2	1	教育総務課	小学校体育館トイレ改修事業費(明許 繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
8	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
9	9	3	1	教育総務課	中学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
10	9	3	1	教育総務課	中学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
11	9	3	1	教育総務課	中学校体育館トイレ改修事業費(明許 繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
12	9	3	3	教育総務課	中学校施設改修事業費	A	A	A	A	A	A	A
13	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
14	9	4	1	教育総務課	幼稚園諸費	A	A	A	A	A	A	A
15	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
16	9	1	3	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	B	B
17	9	1	3	学校教育課	外国語指導助手事業費	A	A	A	A	A	A	A
18	9	1	3	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
19	9	1	3	学校教育課	通学路安全対策事業費	A	A	A	A	A	A	A
20	9	1	3	学校教育課	教育センター運営費	A	A	B	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
21	9	1	3	学校教育課	育て八街っ子推進事業費	B	B	B	A	B	B	B
22	9	2	2	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
23	9	2	2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	A	A	A	A	A	A
24	9	2	2	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	A	A	A	A	A	A
25	9	2	2	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
26	9	2	2	学校教育課	小学校ICT環境整備事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
27	9	3	2	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
28	9	3	2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	A	A	A	A	A	A
29	9	3	2	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	A	A	A	A	A	A
30	9	3	2	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
31	9	3	2	学校教育課	中学校ICT環境整備事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
32	9	6	2	学校教育課	学校保健管理費	A	A	A	A	A	A	A
33	9	6	2	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	A	A	A	A
34	9	6	2	学校教育課	学校保健特別対策事業費	A	A	A	A	A	A	A
35	9	6	2	学校教育課	教育支援体制整備事業費 (幼稚園感染対策)	A	A	A	A	A	A	A
36	9	5	1	社会教育課	社会教育振興費	A	B	B	A	B	B	B
37	9	5	1	社会教育課	青少年健全育成費	B	B	B	A	B	B	B
38	9	5	1	社会教育課	文化財保護費	A	A	A	A	A	A	A
39	9	5	2	公民館	中央公民館管理運営費	A	B	A	A	A	A	A
40	9	5	2	公民館	中央公民館整備事業費	A	A	A	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
41	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (施設の維持管理等)	A	A	A	A	A	A	A
42	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (資料収集、読書の普及、利用促進)	A	A	A	A	A	A	A
43	9	5	3	図書館	図書館整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
44	9	5	3	図書館	視聴覚教材費	B	C	B	A	B	B	B
45	9	5	4	郷土資料館	郷土資料館管理運営費	A	B	B	A	B	B	B
46	9	5	5	郷土資料館	市史編さん費	A	A	A	A	A	A	A
47	9	6	1	スポーツ振興課	学校開放推進費	A	A	A	A	A	A	A
48	9	6	1	スポーツ振興課	保健体育総務費	A	A	A	A	A	A	A
49	9	6	1	スポーツ振興課	体育振興費	A	A	A	A	A	A	A
50	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
51	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営費	A	B	A	A	A	A	A
52	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
53	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター一般管理費	A	A	A	A	A	A	A
54	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
55	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場給食事業費	A	A	A	A	A	A	A

教育委員評価の判定について

教育委員評価判定内規

各項目の判定にあたって、各委員の評価の取りまとめ方について

	i 委員	ii 委員	iii 委員	iv 委員	v 委員	評価	
例①	A	A	A	A	A	評価	A
例②	A	A	A	A	B	評価	A
例③	A	A	A	B	B	評価	B
例④	A	A	A	B	C	評価	B
例⑤	A	A	A	A	C	評価	A
例⑥	A	A	A	C	C	評価	B
例⑦	A	A	B	B	C	評価	B
例⑧	A	A	B	C	C	評価	B
例⑨	A	B	B	C	C	評価	C
例⑩	B	B	B	C	C	評価	C

下位が2以上あれば下位評価とする

下位評価が1の場合は上位評価とする

下位が2以上あれば下位評価とする

この他の評価パターンが生じた場合は上記の基準に照らし判断するものとします。

教育委員会の評価基準

Check 事務事業の評価

必要性 市民からのニーズ、手段、及び市が関与することの妥当性について検証します。

* 市民ニーズ

- a・・・増大若しくは極めて高い
- b・・・高い
- c・・・やや低い
- d・・・低い

* 妥当性

- a・・・法定受託事務や市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業など
- b・・・公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業
- c・・・役割分担可能であるが市関与が望ましい事業
- d・・・市で関与することは妥当性が少ない(民営化または縮小・廃止を検討すべき)

有効性 期待された成果に対する実施成果を検証します。

- a・・・期待された成果以上の高い成果が得られた
- b・・・概ね期待通りの成果が得られた
- c・・・成果はやや低い
- d・・・成果は低い

効率性 事業効率の向上、コスト低減の可能性などについて検証します。

- a・・・向上の余地なし(低減の余地は全くない)
- b・・・向上の余地はあまりない(低減の余地はあまりない)
- c・・・向上の余地あり(低減の余地あり)
- d・・・向上の余地は大きい(低減の余地は大きい)

公平性 事業効果の配分や受益者負担の公平性について検証します。

- a・・・検討の余地なし
- b・・・検討の余地はあまりない
- c・・・検討の余地あり
- d・・・検討の余地は大きい

総括評価 事務事業の総括及び実施上の課題について検証します。

- 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a・・・適切に実施されており検討の余地はない
 - b・・・概ね適切に実施されており検討の余地はあまりない
 - c・・・検討の余地あり
 - d・・・検討の余地は大きい

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員報酬							所管課等	部 局	教育部
									課等・班	教育総務課・総務係
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策								
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例			
直接の対象者 (~に対して)	教育委員					最終的な受益者	市民			
事業目的 (~という状態にするために)	教育行政を運営するにあたり、地方公共団体に教育委員を置き、地域の実情に応じた教育の振興を図る。									
具体的な事業内容 (~を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議として、定例会及び臨時会を開催する。 ・教育委員による学校等教育機関訪問を実施する。 ・総合教育会議の構成員として、市長が招集する会議に出席する。 									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	事業の実績	1	教育委員会定例会等開催数	回	12	13	12	12		
		2	総合教育会議出席数	回	1	1	1	2		
	事業の効果	1	定例会等議案審議件数	件	49	46	49	50		
		2	総合教育会議協議案件数	件	4	2	2	3		
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会務に対する管理・監督に寄与している。 ・教育委員会会議を定期的に開催し、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、適正な運営に努めた。 								
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,208	2,208	2,208	2,208			
	決算額	特定・その他財源()	千円	2,208	2,208	2,208				
		一般財源	千円	2,208	2,208	2,208				
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	2,208						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	月1回の定例会の開催に合わせ、学校等教育機関の訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な事務事業の執行を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市教育行政全体へ反映されるため、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市のホームページで議事録(公表できない部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応じていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握し、より実効的な活動をするため、平成17年度から実施している学校等教育機関訪問を引き続き実施する。 ・教育委員会会議、総合教育会議等の議事録、活動内容等をホームページで公開するなど、教育委員会の透明性を保持する。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・教育委員会会議は、教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 ・さらに現状を把握し、「総合教育会議」の利活用を充実し、教育委員会の一層の活性化を図る。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		教育委員会諸費						所 管 課 等	部 局	教育部			
									課等・班	教育総務課・総務係			
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会表彰規程				
直接の対象者(〜に対して)	市民・教育委員						最終的な受益者	市民					
事業目的(〜という状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、学術、文化又はスポーツの振興に関し、優秀な人材育成に資する。 ・教育委員会の活性化を図るため、教育委員の資質・能力の向上を図る。 												
具体的な事業内容(〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例表彰式を実施する。 ・教育委員が、研修等に参加する。 												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	事業の実績	1	定例表彰式の実施	回	1	0	0	1					
		2	教育委員の研修等への参加	回	3	0	0	3					
	事業の効果	1	教育委員会表彰被表彰者	人(団体)	41	12	22	30					
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析(達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育、学術、文化又はスポーツに関し、功績が顕著であった個人又は団体を顕彰し、優秀な人材の育成に寄与している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により式典は中止とし、表彰状は推薦者を通し受賞者に贈呈いたしました。 ・教育委員においての研修についても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 											
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	(最終)予算額		千円		205	199	199	193					
	決算額		千円		180	112	121						
		特定・その他財源()	千円										
		一般財源	千円		180	112	121						
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	25									
			負担金	96									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	定例表彰式の実施は、教育、学術、文化、スポーツに対する意欲の向上に大きく貢献しており、ニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	教育、学術、文化、スポーツの振興を目的としており、公共性・公平性が求められることから、市が主体となる必要があり、関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	本市の教育、学術、文化、スポーツの振興に貢献している。また、教育委員の研修等を実施することにより、資質・能力の向上が図られている。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	教育委員会の定例表彰式と八街市定例表彰式を合同で行うことで、効率性を高めている。また、教育委員の研修等は、県や印旛郡市の協議会が主催することから、周辺市町との交流も深めることができる。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	必要な経費を公費負担することは問題ない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市教育行政の方向性を共有するための基礎となることであり、今後も継続していきたい。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・多面的な情報収集に気を配っていきたい。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・スポーツ大会等が多様化しており、定例表彰候補者の選定に苦慮しているが、公平な審査基準を保持できるよう努めたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員会事務局諸費						所 管 課 等	部 局	教育部	
								課等・班	教育総務課・総務係	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
直接の対象者(～に対して)	教育委員会事務局					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	・教育委員会が実施する施策等を円滑かつ効率的に行うために、その庶務的な事務を行う。									
具体的な事業内容(～を行う)	・教育委員会事務局の代表である教育長に係る経費(旅費・交際費・負担金等)の支出とする。 ・教育委員会事務事業の点検及び評価を実施する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	事業の実績	1	教育長交際費	件	14	4	3	12		
		2								
		3								
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・教育長交際費の適正な支出を行えた。 ・教育委員会の主管課として、事務事業のとりまとめ役を果たしている。									
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	36,188	602	710	583			
	決算額		千円	35,829	481	587				
		特定・その他財源()	千円	254						
		一般財源	千円	35,575	481	587				
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	8	需用費	265	公課費	12		
			旅費	5	役務費	39				
			交際費	58	負担金補助及び交付金	200				

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心・注目が高まっている中、各種要望等に対応しなければならない。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくかが課題となってくる。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	令和元年度に見直しをした教育振興基本計画に基づき事業を円滑に取り組んでいく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるよう努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校施設整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	20	21	29	20				
		2	委託件数	件	0	1	2	2				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	19,401	25,547	67,753	65,356				
		2	委託の実施	千円	0	1,540	2,079	1,298				
事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R2の主な工事として、笹引小学校屋内運動場床改修工事を実施した。 ・R3の主な工事として、交進小学校合併処理浄化槽更新工事等を実施した。											
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	53,921	27,582	75,288	66,654					
	決算額		千円	53,803	27,087	69,832						
		特定・その他財源()	千円	24,450	12,600	43,177						
		一般財源	千円	29,353	14,487	26,655						
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			委託料	2,079								
			工事請負費	67,753								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理工事(6,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 枠外要求の笹引小学校合併処理浄化槽改修工事等は、適時適切な工事を実施していく。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	教育総務課・総務係		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)						実施根拠	八街市小学校設置条例			
	直接の対象者 (~に対して)	全市立小学校児童						最終的な受益者	市民			
事業目的 (~という状態にするために)	・小学校運営に必要な需用費等の経費管理を行う。											
具体的な事業内容 (~を行う)	・小学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)9校分	千円	12,616	11,265	10,256	10,437				
		2	需用費(光熱水費)9校分	千円	38,032	42,471	41,367	45,192				
		3	役務費(通信運搬費)9校分	千円	3,551	3,536	3,353	3,292				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		79,469	69,800	65,501	66,353				
	決算額		千円		72,999	63,270	61,733					
		特定・その他財源()	千円		1,254							
		一般財源	千円		71,745	63,270	61,733					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			旅費	151	使用料及び賃借料	2,371						
			需用費	54,442	原材料費	150						
			役務費	4,619								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならない。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。 ・複写機のリースを学校以外の施設も含め、まとめて契約することにより経費削減に努める。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校施設維持管理費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舍警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	32	33	31	30				
		2	学校施設の修繕契約数	件	84	81	85	80				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	3	3	3	3				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	17	20	12	15				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	28,599	24,023	25,665	35,953				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,393	5,394	5,911	5,400				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	353	457	457	464				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	3,742	4,242	4,027	3,916				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。											
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		42,531	34,166	45,733	45,469				
	決算額		千円		38,087	34,117	36,060					
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円		38,087	34,117	36,060					
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	6,441	使用料及び賃借料	6,285						
			役務費	457	備品購入費	3,497						
			委託料	19,380								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費の削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)の賃借については、平成27年度から8年間のリース、またAED(全校)令和元年から6年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 小学校の便所が老朽化しているため、トイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、衛生面及び環境面の向上を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和4年度も測定を行う。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <ul style="list-style-type: none"> 児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校体育館トイレ改修事業費(明許繰越分)						所管課等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる小学校体育館のトイレ改修を推進する。											
具体的な事業内容(～を行う)	・小学校体育館トイレの改修、設備の交換等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件			3	0				
		2	業務委託契約数	件		1	1	0				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円			65,033	0				
		2	設計及び監理業務の実施	千円		4,697	3,568	0				
3												
事業効果に関する外部要因		・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる小学校体育館のトイレ改修を推進する。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・令和2年度に小学校7校の体育館トイレ改修工事の設計業務を行った。 (二州小 沖分校 笹引小 交進小 小川上小 東小 北小) ・令和3年度に小学校7校の体育館トイレ改修工事を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			80,900	76,200	0				
	決算額		千円		4,697	68,601						
		特定・その他財源()	千円		4,600	68,587						
	一般財源	千円		97	14							
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	3,568								
			工事請負費	65,033								
			※令和2年度予算残額は令和3年度に繰越 76,200									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの改修要望が多く、災害時の避難所としての役割からも必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	避難所としての機能向上、児童の生活環境の改善を進めることが出来た。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	避難所の機能向上、児童の生活環境を確保するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校施設整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	8	15	20	10				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	7,820	12,730	21,468	10,787				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R2の主な工事として、八街中学校特別教室棟屋上防水改修工事を実施した。 ・R3の主な工事として、八街北中学プールサイド改修工事等を実施した。 											
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	7,885	12,731	20,489	10,787					
	決算額		千円	7,820	12,730	21,468						
		特定・その他財源()	千円			10,100						
	一般財源	千円	7,820	12,730	11,368							
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 21,468									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理工事(4,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 枠外要求の工事は適時適切な工事を実施していく。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・係	教育総務課・総務係	
									電話番号	443-1442	内線 2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)						実施根拠	八街市中学校設置条例		
直接の対象者(〜に対して)	全市立中学校生徒						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	・中学校運営に必要な需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・中学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)4校分	千円	8,944	7,928	7,278	7,469			
		2	需用費(光熱水費)4校分	千円	26,087	21,721	26,490	23,985			
		3	役務費(通信運搬費)4校分	千円	1,683	1,778	1,630	1,779			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。										
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	51,989	49,998	44,761	38,819				
	決算額		千円	50,765	36,123	40,468					
		特定・その他財源()	千円	763	0	0					
		一般財源	千円	50,002	36,123	40,468					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		旅費	52	使用料及び賃借料	1,237						
		需用費	36,585	原材料費	120						
		役務費	2,474								

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	市の関与は妥当ですか		
有効性	a	期待された効果は得られていますか		
効率性	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
総括評価	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
			評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向				
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。 ・複写機のリースを学校以外の施設も含め、まとめて契約することにより経費削減に努める。		
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。		

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校施設維持管理費						所管課等	部局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
	事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。										
	具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	18	23	20	22				
		2	学校施設の修繕契約数	件	58	70	71	65				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	2	2	2	2				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	9	5	14	5				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	6,939	9,230	9,998	14,295				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	4,457	4,440	4,445	4,500				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	62	62	62	72				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	4,273	1,320	2,003	4,773				
		事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。										
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	17,648	16,246	21,883	23,640					
	決算額		千円	15,731	15,052	16,508						
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円	15,731	15,052	16,508						
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	4,528	使用料及び賃借料	329						
			役務費	62	原材料費	190						
			委託料	9,669	備品購入費	1,730						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)については、平成27年度から8年間、AED(全校)は平成30年度から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和4年度も測定を行う。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校体育館トイレ改修事業費(明許繰越分)						所 管 課 等	部 局	教育部			
									課等・係	教育総務課・施設係			
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針				
	直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる中学校体育館のトイレ改修を推進する。												
具体的な事業内容(～を行う)	・中学校体育館トイレの改修、設備の交換等を行う。												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・ 成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	事業の実績	1	工事請負契約数	件		1	1	0					
		2	業務委託契約数	件		1	1	0					
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円		1,276	9,966	0					
		2	設計及び監理業務の実施	千円		2,013	1,942	0					
	事業効果に関する外部要因		・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる中学校体育館のトイレ改修を推進する。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・八街北中学校の体育館トイレ改修工事を行った。											
④ 事業 コス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	(最終)予算額		千円			24,200	20,842	0					
	決算額			千円		3,289	10,872						
		特定・その他財源()	千円		3,200	10,872							
一般財源		千円		89	0								
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料 633 工事請負費 10,239 ※令和2年度予算残額は令和3年度に繰越 20,824										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの改修要望が多く、災害時の避難所としての役割からも必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	避難所としての機能向上、生徒の生活環境の改善を進めることが出来た。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	避難所の機能向上、生徒の生活環境を確保するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設改修事業費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・係	教育総務課・施設係	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員		
事業目的(～という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	・調査に基づき、八街中学校屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行った。(R1) ・八街南中学校屋内運動場の屋根、床改修等の調査設計業務を行った。(R1) ・八街南中学校の屋内運動場における屋根、アリーナ床、便所等の大規模改造工事を行った。(R2) ・八街北中学校の屋内運動場における屋根、外壁、床等の大規模改造工事設計業務を行った。(R3)										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・ 成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	2	1					
		2	業務委託契約数	件	4	2	1	1			
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	229,757	113,289	0				
		2	設計及び監理業務の実施	千円	8,626	1,559	1,602	2,695			
		3	工事に伴う消耗品	千円	0	190	0				
	事業効果に関する外部要因	・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、早期に耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・八街中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(R1) ・八街南中学校の屋内運動場における屋根、アリーナ床、便所等の大規模改造工事を実施した。(R2) ・八街北中学校の屋内運動場における屋根、外壁、床等の大規模改造工事設計業務を実施した。(R3)										
④ 事業 コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	292,768	154,180	2,701	2,695				
	決算額			千円	238,383	115,039	1,942				
		特定・その他財源()	千円	237,071	94,479	1,400					
	一般財源		千円	1,312	20,560	542					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	0							
			委託料	1,942							
			工事請負費	0							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎等があり生徒の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。 ・浄化槽改修工事を実施することにより、排水基準を確保できる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はあまり無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎を改修するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、生徒の安全を確保しなければならない。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・八街中央中学校の屋内運動場における耐力度調査業務を行う。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・屋内運動場の大規模改修工事は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急に実施することが重要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		幼稚園施設整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	幼児教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園施設の改修工事等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	2	2	3	1				
		2										
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	831	533	4,204	1,771				
		2										
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な園環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R3の主な工事として、朝陽幼稚園屋根改修工事を実施した。											
④ 事業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	832	534	4,204	1,771					
	決算額	特定・その他財源()	千円	831	533	4,204						
		一般財源	千円	831	533	1,305						
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 4,204									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事などにおいて、優先度の高い改修工事に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼稚園施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	八街第一幼稚園遊具設置工事を行う。適時適切な施設維持管理工事を実施していく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、幼稚園環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園諸費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・係	教育総務課・総務係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園配当)						実施根拠	八街市幼稚園設置条例		
	直接の対象者(〜に対して)	全市立幼稚園園児						最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	・幼稚園運営に必要な需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・幼稚園事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)3園分	千円	1,307	1,203	1,081	1,097			
		2	需用費(光熱水費)3園分	千円	4,041	4,052	4,139	4,053			
		3	役務費(通信運搬費)3園分	千円	569	574	549	574			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な幼稚園運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	24,023	7,195	6,889	6,735				
	決算額		千円	17,913	6,753	6,705					
		特定・その他財源()	千円	727	0	0					
	3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		千円	17,186	6,753	6,705					
			千円	17,186	6,753	6,705					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	48	役務費	651	負担金補助金及び交付金	49				
		旅費	91	使用料及び賃借料	192						
		需用費	5,639	原材料費	35						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、幼稚園運営をするうえで必要な施設・設備等の経費である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	幼稚園運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならないため。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・幼稚園を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・幼稚園を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園施設維持管理費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・係	教育総務課・施設係	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
		具体的施策	幼児教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者(〜に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員		
事業目的(〜という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等を実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場・AED・複写機の賃借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	15	14	14	14			
		2	幼稚園施設の修繕契約数	件	21	28	19	25			
		3	各種検査、調査等の契約数	件	1	1	1	1			
		4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	1	4	5	4			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	4,888	2,983	3,198	4,172			
2		修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	1,199	1,186	1,186	1,200				
3		各種検査、調査等の実施	千円	22	22	22	22				
4		管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	521	630	506	489				
事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。										
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	6,891	5,442	5,883	6,078				
	決算額		千円	6,629	4,821	4,912					
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円	6,629	4,821	4,912					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	1,186	使用料及び賃借料	1,201					
			役務費	22	備品購入費	506					
			委託料	1,997							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に全面的な更新をする。) 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和4年度も測定を行う。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		<ul style="list-style-type: none"> 園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育指導諸費						所管課等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2365	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育支援センターの充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
									八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
	直接の対象者 (~に対して)	幼稚園・小・中学校教職員						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (~という状態にするために)	充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。										
	具体的な事業内容 (~を行う)	カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの小学校への巡回相談を行う。 カウンセラーによる学校職員に対する研修会を行う。 学校評議員会議の開催										
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	187	233	328	330				
		カウンセラーの小学校巡回相談		回	34	25	28	40				
		学校評議員会議の開催		回	3	2	3	3				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因	H25年度からカウンセラーの小学校巡回相談実施 R元、3年度八街市教育センター「教育相談研修」や八街市中小高生徒指導連絡協議会にて講師として活用											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	カウンセリング件数は年々増加している。また、巡回相談等を通して課題の早期発見に努めると同時に、学校、学校訪問相談員、SSWにつないでいる。また、八街市教育センターや生徒指導担当者向けの教職員研修でカウンセラーが講師を務め、学校職員等に広く周知したことで活用の幅が広がった。相談件数が徐々に増え、課題を抱えている児童・生徒・保護者の状態は好転している。また、令和3年6月28日朝陽小児童が巻き込まれた交通事故を受けを2学期と3学期に緊急対応として朝陽小学校に派遣し、児童保護者等の心のケアにあたった。											
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	58,911	3,903	4,519	3,817					
	決算額			千円	56,771	2,444	4,167					
		特定・その他財源()		千円	5,538	0	0					
	一般財源		千円	51,233	2,444	4,167						
	3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	0	需用費	1,648	使用料及び賃借料	555			
			報償費	292	役務費	67	負担金	1,168				
			旅費	107	委託料	330						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては継続した関わりの中で、児童生徒の安定を目指している。また、学校評議員による学校運営への提言によって望ましい変容を生み出している。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めていく。		B			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B				
				評価者 2	B				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	平成28年度からカウンセラーに関する業務は、教育支援センター費へ移行。学校評議員の提言については、学校運営に更に生かしていけるように努めていく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉的側面での関わりも必要である。教育委員会では、小学校に新たに校内適応指導教室を設置し、学習指導及び相談体制の構築に更に努めていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		外国語指導助手事業費						所管課等	部 局	教育部
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	学校教育課・指導室
		(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1446 内線 2364
		実施計画	具体的施策	学校教育の充実					E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp
		実施方法	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	英語教育の充実	実施根拠	学校教育法施行規則 学習指導要領
直接の対象者(〜に対して)	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象						最終的な受益者	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒		
事業目的(〜という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。									
具体的な事業内容(〜を行う)	市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣 市内国際交流イベントへの参画 市内各校の異文化教育のための環境整備									
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
		小・中学校へのALTの派遣	人	9	9	9	9			
		各幼稚園への派遣	回	3	3	3	3			
		各保育園への派遣	回	3	3	0	3			
	事業の効果		英語に関する興味関心の高まり							
			異文化に対する理解の深まり							
			英語の能力の向上							
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった(各種テストによるスピーキング得点の向上が確認できた)。								
④ 事業コスト		区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
		(最終)予算額	千円	38,017	41,229	44,000	43,956			
	決算額		千円	38,017	41,228	43,956				
		特定・その他財源()	千円		0	0				
		一般財源	千円	38,017	41,228	43,956				
	3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	役務費	43,956							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	2017年4月から、小学校3～6年生の英語授業の教科化の流れがスタートし、2020年からは小学校5～6年生が完全に教科化される。市民の英語授業への期待はますます高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であると考ええる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も妥当である。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	小学校における英語の授業導入から4年目を迎える。外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。今後も本事業を継続するとともに、必要に応じて拡充していく必要がある。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	市内全ての教室にALTを伴う授業が実現できている。また、ほとんどのALTが数年越しの市内勤務となるため、教職員との関係も良好且つ、新しい企画の交流授業や教員研修を行うなどの実践ができています。2年度は全児童生徒に1対1の対面形式のインタビュー授業を実施する予定である。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		英語学習への関心は年々高まっている。英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力のを向上させていくためには、今後も本事業を継続していく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校復帰も平成24年度は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性と有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	引き続き、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、電話相談員等市の人材を活用し、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の支援に努めていく。特に各小中学校との連携においては管理職や担任との積極的な関わりをより強化していく。幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに応えられるようにするため、平成25年度から小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。なお、平成28年度からカウンセラーに関する業務を教育指導諸費より移行。新型コロナウイルス感染対策を行いながら、実習なども行ってゆく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を困ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		通学路安全対策事業費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		（八街市総合計画）2015		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2021	終了	2024	主な計画事業		交通安全環境の充実	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠			
直接の対象者（～に対して）		市内小学校児童						最終的な受益者		市内小学校児童	
事業目的（～という状態にするために）		小学校児童の通学時の安全確保等を図るため。									
具体的な事業内容（～を行う）		小学校児童の通学時の安全確保等を図るため、スクールバスを運行するとともに、学校安全アドバイザーの配置や交通安全教育等の安全対策事業を実施する。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		今回の朝陽小学校の不慮の事故を受け、国からの要請もあり、また、多方面の方々からのご意見があり参考としている。また、成果の検証として対象児童生徒及び保護者にアンケートを実施した結果、約8割以上から安心感につながったとの回答を得ている。					
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
		事業の実績		1	スクールバス・警備員の運行及び配置日数	日			141	198	
				2	朝陽小学校通学路危険箇所における安全対策件数	件			7	3	
				3							
		事業の効果		1	児童の事件・事故発生件数	件			12	0	
				2	朝陽小学校通学路における危険箇所数	箇所			7	3	
				3							
		事業効果に関する外部要因		令和3年6月28日に発生した下校途中の児童死傷事故を受け、二度とこのような凄惨な事故が起きないよう児童の通学時における安全対策の徹底が求められている。							
		事業効果の総合分析（達成できたこと）		令和3年6月28日に発生した児童死傷事故を受け、朝陽小学校では児童生徒の心のケアを目的にスクールバスの運行を開始した。これに加えて、二州小学校では、自転車通学をしていた児童を含め、通学時の安全確保を目的にスクールバスの運行を開始した。また、学校安全アドバイザーの配置や交通安全教育等の安全対策事業を実施することで、交通安全の推進に寄与することができた。							
		④ 事業コスト		区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)	
(最終)予算額				千円				17,123	27,007		
決算額					千円				16,224		
				特定・その他財源()	千円				13,501		
				一般財源	千円				2,723		
3年度の主な歳出節別内訳（単位：千円）		報償費	180	使用料及び賃借料	10,508						
		需用費	1,136	備品購入費	209						
		委託料	4,191								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	以前より、通学路の安全について多数の要望があったが、今回の朝陽小学校の事故を受け、更に要望が増えている。	A				
		市の関与は妥当ですか	a	児童の登下校の安全確保は、市が実施すべきことである。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スクールバスの運行、警備員の配置等は児童の安全確保の有効な手段となっている。また、学校安全アドバイザーの配置や交通安全教育等の安全対策事業を実施することで、交通安全の推進に寄与することができている。	A				
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各学校から一番近い民間バス事業者に運行業務を委託しているが、運行の単価は、時間と走行距離で国で定められた基準によって算出されており、市職員による直営に比べ、効率的な実施方法となっている。	A				
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり 児童死傷事故を受け、朝陽小学校では児童生徒の心のケアを目的にスクールバスの運行を開始、この際、二州小学校でも自転車通学をしていた児童を含め通学時の安全確保を目的にスクールバスの運行を開始した経緯がある。受益者負担は業務の性質上発生しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	A				
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和3年6月28日に発生した児童死傷事故を受け、朝陽小学校では児童生徒の心のケアを目的にスクールバスの運行を開始した。これに加えて、二州小学校では、自転車通学をしていた児童を含め、通学時の安全確保を目的にスクールバスの運行を開始した。運行業務についてはバス会社と単年ごとに業務委託契約を行うために、一般競争入札を実施し、コスト削減に努めている。	A				
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	朝陽小学校及び二州小学校については、児童生徒の心のケア及び安全確保の観点から、今後も事業を継続してゆく。この事業に加えて、通学路における危険箇所対策を行ったり、先進的な安全教育の手法を取り入れるなどして、安全安心な学校づくりを推進していく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		朝陽小学校及び二州小学校については、児童生徒の心のケア及び安全確保の観点から、今後も事業を継続してゆく。この事業に加えて、通学路における危険箇所対策を行ったり、先進的な安全教育の手法を取り入れるなどして、安全安心な学校づくりを推進していく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価から、一層の学力向上、学校改善に対する関心や要望は高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	若年層教職員も増え、業務改善にも取り組む必要がある中、資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがある。全市を上げての取り組みは必要かつ妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない、その機会を与えなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実施に伴い、教職員が研修しやすい環境の整備、ならびに研修支援センターとしての役割を一層充実させる。 ・集合型研修だけでなく、遠隔会議システムを活用して、北海道教育大学や千葉工業大学などを結んだ講演会等、新たな研修の方法で開催する。 ・ホームページの容量増加をはかり、各学校の情報発信の支援と管理を行う。また、動画等の配信についてもシステムを構築する。 ・教育センターだより、ホームページの充実などを通して、市内の学校の支援にかかる情報提供をより一層充実させる。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。令和2年度から、学校教育課主幹兼教育センター所長の増員をしていただき、教員のより一層の支援をはかることができるので、さらに専任指導主事の増員、専任職員の配置等を通して、機関としての教育センターの機能強化を図る。昨年度から有料のクラウド型ホームページにグレードアップできたので、さらに充実したページになるよう各校のH1P支援体制を強化する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		育て八街っ子推進事業費						所 管 課 等	部 局	教育部			
									課等・班	学校教育課・指導室			
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1446	内線	2361
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	連携教育の推進					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法				
	直接の対象者 (～に対して)	教職員及び児童生徒						最終的な受益者					
事業目的 (～という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。												
具体的な事業内容 (～を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。												
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
			中学校区の連携教育プランの策定と実施	回	3	3	3	3					
			連携教育アンケートの考察	回	0	0	0	0					
		連携教育リーフレット作成と活用	回	1	1	1	1						
	事業の効果												
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。												
④事業コスト	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)							
	(最終)予算額	千円	291	71	71	181							
	決算額		千円	208	70	71							
		特定・その他財源()	千円		0	0							
		一般財源	千円	208	70	71							
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	需用費	71											
	使用料及び賃借料	0											

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。		B
		市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みである。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものである。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	「学力向上」を目標とした「継続指導共通6項目」、「情報発信」の重視を今年度の重点とする。また、コロナ禍で控えていた外部機関との連携も感染状況を見極めながら徐々に再開していく。「落ち着いた園・学校生活の実現と、将来に夢を抱いて生活を送る」ことが学力向上につながることを施策の中心に置く。幼小中高連携を一層推進していく過程の中で、市内の園児及び児童生徒の生活安定と健全育成を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校教育振興費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・指導室		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2363
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市内小学校児童						最終的な受益者	市内小学校児童			
事業目的 (～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。											
具体的な事業内容 (～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当										
		不該当										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	91	30	21	100				
		児童生徒PC端末整備 (GIGAスクール構想)		%	/		100	100	100			
		各種大会のためのバスの借り上げ		回	3	0	0	2				
	事業の効果	児童の興味・関心の向上										
		専門的な知識・技能の伝達										
備品購入(図書)												
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	139,990	125,502	147,331	156,706					
	決算額			千円	138,157	123,892	146,034					
		特定・その他財源()		千円	141	72	12,902					
	一般財源		千円	138,016	123,820	133,132						
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報償費	160	委託料	63,980	負担金	49				
			需用費	7,341	使用料及び賃借料	70,435						
			役務費	994	備品購入費	3,075						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語における読む力の向上が期待できる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各学校の教育活動を工夫・改善し、児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力が子どもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語における読む力の向上に期待ができる。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校教材備品等購入費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・班	学校教育課・学務係	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者(～に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者	市立小学校児童		
事業目的(～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績 ・ 成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	9	9	9	9				
	事業の効果	教材備品購入費	千円	1,707	1,537	1,539	1,539				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
④ 事業 コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,709	1,539	1,539	1,539				
	決算額		千円	1,707	1,537	1,539					
		特定・その他財源()	千円	0	0	0					
	一般財源		千円	1,707	1,537	1,539					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 1,539									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者	市立小学校児童			
事業目的 (～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)	市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	理科備品現有数	%	84.7	77.0	77.5	80.0					
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,130	1,017	1,017	1,017					
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。										
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,130	1,017	1,017	1,017					
	決算額		千円	1,130	1,017	1,017						
		特定・その他財源()	千円	550	400	480						
		一般財源	千円	580	617	537						
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,017										

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校児童援助奨励費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkyo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	就学における経済的援助				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
	直接の対象者(～に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者						最終的な受益者	児童の保護者			
事業目的(～という状態にするために)	経済的理由により、就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。											
具体的な事業内容(～を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績 ・ 成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	準要保護児童認定数		人	195	228	229	198				
	事業の効果	準要保護児童認定率		%	6.7	8.3	8.7	7.9				
事業効果に関する外部要因	・不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加 ・(R2年度から)コロナ禍により収入が減少した家庭の増加											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。											
④ 事業 コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	19,466	20,352	21,288	22,254					
	決算額			千円	18,206	17,909	20,197					
		特定・その他財源()	千円	1,845	1,960	2,121						
	一般財源		千円	16,361	15,949	18,076						
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			扶助費	20,197								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の厳格化の推進が更に必要である。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の厳格化の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。制度の周知および基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校ICT環境整備事業費(明許繰越分)						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・指導室		
									電話番号	443-1446	内線	
									E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2021	終了	2024	主な計画事業	教育環境づくりの充実				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学習指導要領			
	直接の対象者(～に対して)	市内小学校児童						最終的な受益者	市内小学校児童			
事業目的(～という状態にするために)	児童1人1台の教育用コンピューターを整備し、学習活動において積極的にICTを活用することにより、児童の教育的ニーズや学習状況に応じた教育活動の工夫改善(学びのモデルチェンジ)、また、児童がICTを適切・安全に使いこなすことができるように、ネットリテラシーなどの情報活用能力の育成を図る。											
具体的な事業内容(～を行う)	高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型パソコンの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	校内無線LAN整備		校		9						
		1人1台のタブレット型パソコン整備		台		2,737						
	事業の効果	教育用コンピュータの活用		校			9					
		主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		校			9					
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		令和2年度において、高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を国庫補助金を活用して行うことができた。 令和3年度においては、GIGAスクールサポーター業務契約により、各校での活用・授業改善等についての支援を行うことができた。										
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			389,777	2,399	0				
	決算額			千円			383,815	2,399				
		特定・その他財源()		千円			131,002	1,192				
	一般財源		千円			282,813	1,207					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料 2,399 使用料及び賃借料 備品購入費									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育の中で、一人一台の教育用コンピュータを整備し、教育効果を高めていく事は、重要であるとの認識が高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	時代に即した教育内容の充実、ICT教育環境の整備、情報モラル教育の充実等、施策体系に結びついている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市内各校が教育活動を改善するために、各校が工夫して教育用コンピュータを活用している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	一人一台の教育用コンピュータ整備については、国庫補助金を活用し、国の基準に応じた割り振りとしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各小学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	校内無線LAN及び児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備は完了し、各校での活用等についても、サポーター業務の支援により完了した。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	別の事務事業において、整備した高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータを活用して、個別最適化された学びや遠隔(リモート)による交流等学びのモデルチェンジを実施し、将来八街市を支える人材づくりへとつなげる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 別の事務事業において、各小学校児童の学力の向上のため、電子黒板やプログラミング教材の整備等継続して実施する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	中学校教育振興費						所管課等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2363	
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (〜に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
	事業目的 (〜という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
		ゲストティーチャー活用事業	回	6	0	4	10					
		児童生徒PC端末整備(GIGAスクール構想)	%		100	100	100					
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上										
		専門的な知識・技能の伝達										
		備品購入(図書)										
	事業効果に関する外部要因	外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。											
④ 事業コスト	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	(最終)予算額	千円	63,263	72,036	77,545	80,264						
	決算額	特定・その他財源()	千円	62,252	71,371	76,764						
		一般財源	千円	62,252	71,371	69,721						
	3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	報償費	12	委託料	36,302	負担金及び補助金	1,001					
	需用費	5,769	使用料及び賃借料	31,139								
	役務費	441	備品購入費	2,100								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。		A
		市の関与は妥当ですか	a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り込むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A
	外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 評価者 2	A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。	

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校教材備品等購入費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkyo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (~に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
事業目的 (~という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (~を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当										
		不該当										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	教材備品購入学校数		校	4	4	4	4				
		教材備品購入費		千円	1,485	1,477	1,337	1,337				
		事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
	④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
(最終)予算額		千円	1,485	1,337	1,337	1,337						
決算額				千円	1,477	1,337	1,337					
		特定・その他財源()	千円									
一般財源		千円	1,477	1,337	1,337							
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			備品購入費 1,337									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市立中学校生徒						最終的な受益者	市立中学校生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)	市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
		理科備品現有率	%	80.0	85.7	85.4	85.0					
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,015	918	918	918					
事業効果に関する外部要因	老朽化した理科備品の廃棄を行い、現有率が下がった。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。											
④ 事業コスト	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	(最終)予算額	千円	1,020	918	918	918						
	決算額	千円	1,015	918	918							
		特定・その他財源()	千円	497	387	397						
	一般財源	千円	518	531	521							
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	備品購入費		918									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また、平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳による廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校生徒援助奨励費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・班	学校教育課・学務係	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線 2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	就学における経済的援助			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱		
	直接の対象者(〜に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者						最終的な受益者	生徒の保護者		
事業目的(〜という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる生徒に必要な教育を受けさせるため。										
具体的な事業内容(〜を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	準要保護生徒認定数	人	148	148	164	152 ↑当初予算ベース				
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	8.9	8.9	10.2	9.8				
	事業効果に関する外部要因	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加 (R2年度から)コロナ禍により収入が減少した家庭の増加 									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	29,955	28,121	27,686	31,868				
	決算額		千円	23,813	19,723	22,838					
		特定・その他財源()	千円	2,149	1,534	1,611					
		一般財源	千円	21,664	18,189	21,227					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		扶助費 22,838 償還金利子及び割引料									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民が対象となっているため、基準の厳格化の推進が更に必要である。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の厳格化の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。制度の周知および基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校ICT環境整備事業費(明許繰越分)						部 局		教育部			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ①事務事業の概要		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		学校教育課・指導室	
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1446 内線 2363	
		具体的施策		学校教育の充実						E-mail		gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
		実施計画		開始	2021	終了	2024	主な計画事業		教育環境づくりの充実			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		学習指導要領			
直接の対象者(〜に対して)		市内中学校生徒						最終的な受益者		市内中学校生徒			
事業目的(〜という状態にするために)		生徒1人1台の教育用コンピューターを整備し、学習活動において積極的にICTを活用することにより、児童の教育的ニーズや学習状況に応じた教育活動の工夫改善(学びのモデルチェンジ)、また、児童がICTを適切・安全に使いこなすことができるようにネットリテラシーなどの情報活用能力の育成を図る。											
具体的な事業内容(〜を行う)		高速大容量の校内無線LAN、生徒1人1台のタブレット型パソコンの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を行う。											
②		市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施													
③実績・成果		区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
		事業の実績		校内無線LAN整備		校		4					
				1人1台のタブレット型パソコン整備		台		1,597					
		事業の効果		教育用コンピュータの活用		校			4				
				主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		校			4				
		事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		令和2年度において、高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を国庫補助金を活用して行うことができた。 令和3年度においては、GIGAスクールサポーター業務契約により、各校での活用・授業改善等についての支援を行うことができた。											
④事業コスト		区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
		(最終)予算額		千円			216,993	1,066	0				
		決算額				千円			210,574	1,066			
				特定・その他財源()		千円			73,885	533			
		一般財源		千円				136,689	1,066				
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料		1,066									
		使用料及び賃借料											
		備品購入費											

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育の中で、一人一台の教育用コンピュータを整備し、教育効果を高めていく事は、重要であるとの認識が高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	時代に即した教育内容の充実、ICT教育環境の整備、情報モラル教育の充実等、施策体系に結びついている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市内各校が教育活動を改善するために、各校が工夫して教育用コンピュータを活用している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	一人一台の教育用コンピュータ整備については、国庫補助金を活用し、国の基準に応じた割り振りとしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	校内無線LAN及び児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備は完了し、各校での活用等についても、サポーター業務の支援により完了した。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	別の事務事業において、整備した高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータを活用して、個別最適化された学びや遠隔(リモート)による交流等学びのモデルチェンジを実施し、将来八街市を支える人材づくりへとつなげる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 別の事務事業において、各中学校生徒の学力の向上のため、電子黒板やプログラミング教材の整備等継続して実施する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	学校保健管理費						所 管 課 等	部 局	教育部	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		学校教育課・学務係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-1446	内線	2369
		具体的施策	学校教育の充実				E-mail		gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	健康づくりの推進				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員					最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的 (〜という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。									
	具体的な事業内容 (〜を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。									
	②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	5,500	5,145	4,945	4,953			
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16			
		3	給食補助員の数	人	18	18	18	18			
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	5,500	5,145	4,945	4,953			
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16			
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供	人	18	18	18	18			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。								
	④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
(最終)予算額		千円	30,540	17,471	18,641	19,405					
決算額				千円	29,612	16,934	17,847				
		特定・その他財源()	千円								
一般財源		千円	29,612	16,934	17,847						
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	7,884	役員費	1,637					
			需用費	460	委託料	7,866					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員であり、時間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は健診専門機関へ委託。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。未受診者の事後指導を実施する。また、労働者自身によるストレスへのセルフケアと、事業者によるストレスの要因の低減を目的としたストレスチェック制度を実施する。給食配膳室の衛生管理を徹底する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	学校保健諸費								所 管 課 等	部 局	教育部		
										課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1446	内線	2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	学校教育の充実											
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	健康づくりの推進						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()							実施根拠	学校保健安全法				
直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事							最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者				
事業目的 (〜という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。												
具体的な事業内容 (〜を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会) ・災害共済給付金のセンターへの請求および、共済加入者への給付												
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	4,542	4,502	4,340	3,791					
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	168	165	154	177					
	事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	586	211	227	210					
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	168	165	154	177					
	事業効果に関する外部要因	R2年度について、新型コロナウイルス感染症対策の休校や行事の中止等により、学校管理下での事故発生件数および共済給付人数が大幅に減少した。											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・災害共済加入・給付および負担金について、遅滞・漏れ等なく行えた。 なお、災害共済は例年どおり、市内公立小中学校・幼稚園に在籍する児童生徒および幼児全員が加入している。 ・共済給付金の給付方法変更(⑥参照)について、令和3年度からスムーズに移行できるよう準備を進めた。											
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	(最終)予算額		千円		4,463	4,248	4,110	3,968					
	決算額			千円		4,341	4,203	4,082					
		特定・その他財源()	千円										
	一般財源	千円		4,341	4,203	4,082							
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			負担金	4,082									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。学校保健会等の健全な運営が図られる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。 給付金の支給方法について、従来の学校長を通じた支給から、直接保護者の口座へ支給する方法に変更し、学校側の事務負担軽減を図る。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができるため、対象者からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の新型コロナウイルス感染症の感染防止及び安全対策であることから必要な事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童・生徒の安心・安全な学校生活が確保されたことにより、十分な教育活動を継続することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	安心して学校生活をおくる体制を整備できる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	コロナ禍でも感染防止対策を図ることで、児童・生徒が安心して学校生活を送る体制を整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	引き続き、コロナ感染症予防及び拡大防止のため、アルコールやパーテーション等を整備し、コロナ禍の中で学びを止めないための学習教材の整備(電子黒板やプログラミング教材の整備等含む)をする。なお、学習教材の整備は、各小学校児童の学力の向上等にもつながる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 引き続き、コロナ禍での、感染予防及び拡大を防止するため、学びを止めないための、消耗品や備品の整備、学習環境の整備等を行う。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育支援体制整備事業費(幼稚園感染症対策)						所管課等	部 局	教育部		
	(八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・学務係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2366	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2021	終了	2024	主な計画事業	市立幼稚園管理運営の充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園児・教職員						最終的な受益者	幼稚園児・保護者			
	事業目的(～という状態にするために)	新型コロナウイルス感染症対策の一環として幼稚園の質の向上のため、環境の整備を行うことにより質の高い環境で子供を安心して育てる体制を整備する。										
	具体的な事業内容(～を行う)	市立幼稚園3園に新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品を購入した。										
	②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	保健衛生用品等の配置	園			3	3	0				
		非接触体温計	個			13	0	0				
		空気清浄機	個			11	6	0				
	事業の効果	園環境の衛生的な維持	園			3	3	0				
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市立幼稚園3園に対し、保健衛生用品や空気清浄機等備品を配備することで新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に寄与することができた。										
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			3,112	1,500	0				
	決算額		千円			3,087	1,500					
		特定・その他財源()	千円			3,000	749					
		一般財源	千円			87	751					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	962								
			備品購入費	538								

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価(総括)
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点からニーズは高い。		A
	市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園の設置者である市が負担とすることは妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に寄与していると考えられる。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	保健衛生用品等を配付することにより、子供を安心して育てる体制を整備できる。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全園に対し配付をしており、公平である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	新型コロナウイルス感染症により、生活様式について変更せざるを得ないことから、今後についても十分な保健衛生用品が必要と思われる。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A

Action 今後の事務事業の方向

4年度における取組のPRと方向性	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、保健衛生用品等を購入し配付することで、子供を安心して育てる体制を維持する。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 休止
	新型コロナウイルス感染症対策のため、今後も保健衛生用品等を不足したら配付する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	社会教育振興費								所管課等	部 局	教育部
										課等・班	社会教育課・社会教育推進係
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1464	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興				生涯学習推進体制の確立・学習情報の収集と提供・人材バンクの登録と提供・学習機会の充実・家庭教育の支援・芸術文化事業の充実・芸術文化活動団体への支援				
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()							実施根拠	教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則		
直接の対象者(～に対して)	市民							最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展示会等を開催する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習施設の整備								
		市民の楽しめる場所や施設がなく、複合施設とし、図書館、カルチャー、文化センター、フードコート等を計画してほしい。									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	令和4年度(目標)				
		1 高齢者学級の実施(自主学級)	学級数	9	中止	中止	9				
		2 家庭教育学級の実施	学級数	15	中止	オンライン開催	15				
		3 家庭教育講演会の開催	回	1	中止	オンライン開催	オンライン開催				
		4 社会教育振興大会の開催	回	中止	中止	中止	1				
		5 輝く女性の研修会の開催	回	1	中止	中止	中止				
		6 市民文化祭の実施	回	1	中止	中止	中止				
	7 市民音楽祭の実施	回	1	中止	中止	中止					
	事業の効果	1 高齢者学級開催数	回	51	中止	中止	25				
		2 家庭教育学級修了者数	人	187	中止	オンライン開催	100				
3 家庭教育講演会の参加者数		人	292	中止	オンライン開催	オンライン開催					
4 社会教育振興大会の参加者数		人	中止	中止	中止	200					
5 輝く女性の研修会の参加者数		人	221	中止	中止	中止					
6 市民文化祭の出演・出品者数		人	690	中止	中止	中止					
7 市民音楽祭の出演者・来場者数		人	736	中止	中止	中止					
事業効果に関する外部要因	家庭教育学級の学級生数は、児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。各種事業への参加者・団体の固定化や人口減、少子高齢化。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となったが、オンライン開催にて事業を行うことができた。										
④ 事業コスト	区分	単位	元年度	2年度	3年度	令和4年度(目標)					
	(最終)予算額	千円	8,272	1,285	1,545	2,394					
	決算額	千円	7,346	1,092	1,082	2,394					
		特定・その他財源()	千円	548	77	93	93				
	一般財源	千円	6,798	1,015	989	2,301					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報酬	126	報償	20							
	需用費	368	負担金及び補助金	537							
	役員費	26									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化すると思われる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。なお、コロナ禍ではあるが市民が主役の事業については協働を推進し、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの事業は中止となったが、一部の事業はオンライン開催で行うことができた。コロナ禍ではあったが、社会教育委員会議を4回実施し、うち2回は書面開催で行った。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの事業は中止となったが、社会教育委員会議など専門知識を有する委員の意見や指導員の指導・助言を受けている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	例年は講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	少子高齢化や家庭教育の重要性が注目されている。 社会教育への参加者の固定化や減少化。 各種事業等のコロナ禍での開催方法(オンライン、リモート等)の検討。		B
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	B
			B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	B
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	家庭教育の重要性の啓発、社会教育振興大会の充実を図り、市民に社会教育の重要性を訴える。 より多くの人に周知し、興味を持ち、事業に参加してもらえよう、市広報、ホームページ、メール配信等の情報媒体を活用したPRを行う。 また、優れた文化芸術活動や鑑賞機会の提供を推進する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 多岐にわたる市民の学習ニーズに応えるために、より充実した事業展開や協働による事業の実施を推進する。 また、市民文化の向上を図り、文化芸術活動の発表・鑑賞機会への参加を促す。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	青少年健全育成費					所管課等	部 局	教育部			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	社会教育課・社会教育推進係			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1464	内線		
		実施計画	開始	2020	終了	2024		主な計画事業	E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)					実施根拠	社会教育法				
	直接の対象者 (～に対して)	市民・こども110番推進委員会					最終的な受益者	市民				
	事業目的 (～という状態にするために)	青少年教育及び啓発活動とおして市民による青少年の健全育成を推進する。 また、子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所を確保する。 さらに、子どもたちの調和のとれた人間形成を図るとともに市民の憩いの場を提供するため、自然体験型の学習機会を提供する。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	青少年教育事業、青少年相談員の委嘱、市民に対する啓発活動等。 協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入による、こども110番事業の支援。 子どもと大人と一緒にタケノコ掘り体験施設及び市民に親しまれる施設(憩いの場)とするためのこの里の維持管理。 学校の空き教室を利用した、放課後における子どもの居場所づくりと学習支援を目的とした、児童クラブとの一体型の放課後子ども教室を実施する。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成								
				青少年の素行改善								
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	令和4年度(目標)					
		1 青少年相談員主催事業の実施	事業	2	中止	1	3					
		2 放課後子ども教室開設数	教室	5	5	5	5					
		3 通学合宿の実施	回	1	中止	中止	中止					
		4 成人式の実施	回	1	オンライン開催	1	1					
		5 こども110番の家協力募集チラシ配布数	枚	923	中止	中止	1,000					
	6 タケノコ掘り体験学習期間の実施日数	日	30	中止	26	30						
	事業の効果	1 青少年交流会の参加者数	人	1,502	中止	中止	1,000					
		2 少年少女のつどい大会参加者数	人	46	中止	中止	100					
		3 放課後子ども教室参加者数	人	1,980	2,814	2,445	2,800					
4 通学合宿の修了者数		人	20	中止	中止	中止						
5 成人式の参加者数		人	572	オンライン開催	551	600						
6 こども110番の家協力世帯数		世帯	1,930	1,930	1,932	1,930						
7 タケノコ掘り体験者数		人	303	中止	92	100						
事業効果に関する外部要因	少子化に伴う対象者数・参加者数の減少。健全育成事業及び啓発活動の実施に当たっては、青少年相談員やボランティアの協力が不可欠。こども110番事業は、市小中学校PTA連絡協議会による取り組み。 タケノコ掘りの体験学習は、タケノコの発育状況により期間を短縮せざるを得ない場合がある。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症の影響により複数の事業が中止となったが、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて事業を再開することができた。 こども110番支援事業では、市P連により登録件数の見直しを行った。 新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で、放課後子ども教室を開講できた。 成人式は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて、2部制で開催した。											
④ 事業コスト	区分	単位	元年度	2年度	3年度	令和4年度(目標)						
	(最終) 予算額	千円	6,392	6,108	4,406	4,980						
	決算額		千円	4,847	4,999	3,690	4,980					
		特定・その他財源()	千円	1,310	1,235	1,236	1,840					
	一般財源	千円	3,537	3,764	2,454	3,140						
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	報償費	1,502	需用費	845	役員費	187						
	委託料	537	使用料及び賃借料	83	備品購入費	29						
	負担金及び補助金	507										

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		次代を担う青少年を健全に育成することは社会全体が必要としている。児童・生徒を凶悪犯罪から守ることは社会的な課題であり、こども110番の家制度の意義は大きい。たけのこの里は自然体験施設として利用者からは好評である。放課後子ども教室の申込者は増加している。		
	b	青少年の健全育成は社会的な課題である。学校・家庭・地域の連携を図り、市が各種施策を展開することは妥当である。ただし、たけのこの里の管理運営方法については検討を要する。					
有効性	b	新型コロナウイルス感染症の影響により複数の事業が中止となったが、一部の事業は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて開催した。放課後子ども教室は、新型コロナウイルス感染の緊急事態宣言となり、令和4年1月20日より全ての教室を中止とした。こども110番の家の登録件数の見直しを行った。成人式は、スポーツプラザにて、2部制により開催。					
効率性	b	コロナ禍の中で関係団体や指導員の協力を得ながら必要最小限の予算で各種事業を実施している。こども110番支援事業では、市PTA連絡協議会や学校と連携することで事業の効率化を図っている。周知看板の交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。たけのこの里管理費については、委託料の減額に伴い職員による直営作業を実施している。放課後子ども教室指導員の病欠等の場合は、その代替えを職員が対応している。					
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	放課後子ども教室の負担金として、保険料を徴収している。その他は公平性に問題はない。	A			
総括評価	b	青少年を取り巻く環境の変改への対応。こども110番支援事業では「こども110番の家」の看板を掲げることで地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮している。タケノコ掘りは体験者には好評であるが、体験期間以外の時期の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。放課後子ども教室の市内小学校全校での開講が課題である。(現在8校中5校)各種事業等のコロナ禍での開催方法(オンライン、リモート等)の検討。		B			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B			
			評価者 2	B			
Action 今後の事務事業の方向							
4年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識するための啓発運動を実施するとともに、子どもを対象とする各種事業の周知に努める。こども110番支援事業では、登録件数を見直し、市民への周知を図る。また、周知看板の劣化状況確認等を実施する。放課後子ども教室を含めた、地域学校協働活動の推進に努める。コロナ禍での成人式の開催方法の検討。(2部制、オンライン開催等)						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校・家庭・地域が連携した地域とともにあゆむ学校づくり推進支援事業の充実。(地域学校協働活動、学校運営協議会、放課後子ども教室等) こども110番の家協力世帯を拡充することにより、安全で安心なまちづくりの推進を図る。 たけのこの里の維持管理では、職員による作業が増大し、効率性を欠いている。市としての活用方法を検討する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		文化財保護費						部 局		教育部		
								課等・班		社会教育課・文化財係		
								電話番号		443-1464 内線		
								E-mail		shakvo@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
		具体的施策	文化財の保護・継承									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	文化財保護意識啓発活動・指定文化財の拡充				
		実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託 ■ 補助金交付 ■ 負担金 ■ その他 (文化財ボランティアとの協働事業)						実施根拠	文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外		
		直接の対象者(〜に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者						最終的な受益者	市民		
	事業目的(〜という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) ○各種文化財の保護 ○市指定無形民俗文化財保持者への支援 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ○市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ・指定文化財(史跡・記念物)に関する管理等に重点を置くよう要望がある。 ・文化財ボランティアを積極的に活用するよう要望がある。									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	元度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	出前講座の実施	回	9	0	2	3					
		文化財保護周知用立看板年間設置数	基	2	4	6	1					
		埋蔵文化財の取扱い(確認等)	件	183	189	205						
	事業の効果	出前講座の年間受講者数	人	227	0	60	72					
		文化財保護周知用立看板の総設置数	基	77	77	80	81					
各種指定文化財の保存・整備活動数		回	19	20	21	19						
事業効果に関する外部要因		・埋蔵文化財の取扱いや発掘調査等の件数は、民間の開発事業と遺跡の分布との関係に依存するため、年度による件数の増減は流動的となっている。 ・新型コロナウイルス流行の状況に合わせて、出前講座やボランティアとの協働事業を実施したため、件数・参加者とも限定された実施となった。R4年度についてもウイルスの流行が大きく影響するものと考えられることから、R3を基準として2割増を目標とした。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		①文化財の追加指定に向けて整備を進めている「御成街道跡」の発掘調査を実施し、有益な調査成果を得ることができた。 ②R3年度の文化財保護周知用立看板の設置数は6基であるが、内3基は既存看板の劣化による修繕設置、他3基は簡易な注意喚起看板の新設となるため、総数は3基増となっている。 ③埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。 ④文化財周知用看板において、長寿命化を目的とした計画を策定するため中央部方面の同看板の状況調査を実施し、それに基づいた修繕を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	3,942	3,927	3,835	4,528					
	決算額		千円	3,608	3,504	3,548	4,528					
	特定・その他財源()		千円	1,250	1,250	1,250	1,412					
	一般財源		千円	2,358	2,254	2,298	3,116					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	26	需用費	75	負担金及び補助金 77					
			報償費	83	委託料	3150	役務費 9					
			旅費	0	賃借	128						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由	二次評価
必要性	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半である。また、郷土の歴史を知り、文化財を保護することは、国民の文化の向上・発展のために必要不可欠であるため業務の必要性は高い。	A
	a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、埋蔵文化財保護事業等、法・条例に基づく事業に関しては教育委員会が実施すべきものと規定されていることから、市の関与は法的にも妥当なものである。また、大規模な事業に対しては国庫補助を活用しながら複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。	
有効性	a	国庫補助金等を活用した史跡整備事業において、十分な調査成果等を上げることができている。また、埋蔵文化財行政等、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。文化財の保存・活用事業においても、他市町との連携等により、効果的に上位施策である市民文化の継承に寄与している。	A
効率性	a	R2年度に引き続きR3年度においても、出前講座・ボランティア活動支援等はキャンセル等によりわずかな実施に留まったが、保険料以外の支出はない。複数年度に渡る史跡整備においては市教委負担が大きくなることから、県担当者と協議を持ち、令和元年度から国・県の補助金(補助率62.5%)を導入している。	A
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・本調査費用等、応分の負担をお願いしている。	A
総合評価	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。他方、市民の文化財等に関する認知度を向上させるための出前講座や市民ボランティアとの協働事業等については、新型コロナウイルス流行により、従前のような実施は困難な状況であるが、感染対策を講じながら事業を徐々に再開している。	A
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1 A 評価者 2 A

Action 今後の事務事業の方向

4年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年度にまたがり史跡の指定に向けた調査・整備を推進中であり、令和4年度は指定を見込んでいる史跡2件の発掘調査の整理を印旛郡市文化財センターに委託業務として実施し、報告書を刊行する予定である。また、経常的に直営で実施している開発行為等に伴う発掘調査についても、5年毎に報告書の刊行するよう計画しており、本年度刊行予定である。 ・被災し、取り壊された郷土資料館を新たに設置するため、昨年度発足した郷土資料館のあり方検討会議作業部会の中で関係各課担当者と協議を進める。
事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡保護を目的とした発掘調査・整備等を実施しながら、指定文化財の拡充を図る。併せて、指定後の整備計画についても進める。 ・埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めており、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めている。また、報告書についても5年毎の定期的な刊行を継続して遂行する。 ・文化財に対する市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種広報を活用しながら周知を進めるとともに、新型コロナウイルス収束後には各種出前講座を進めながら、文化財ボランティア等を活用した官民協働での保護意識・体制づくりを推進する。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	中央公民館管理運営費						所管課等	部 局	教育部	
	(八街市総合計画) 2015	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班	中央公民館・管理事業係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-3225	内線	
		具体的施策	社会教育活動の推進				E-mail		c_kominkan@city.yachimata.lg.jp		
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		中央公民館の学習環境整備		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
	事業目的 (〜という状態にするために)	公民館は、地域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
	具体的な事業内容 (〜を行う)	学術及び文化に関する各種講座、イベント事業等の開催。 公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。									
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	学術及び文化に関する各種講座の開催	回	15	3	4	18(オンライン含む)			
		2	こうみんかん祭	回	0	0	0	1			
		3	ひまわり絵画展	回	1	0	0	1			
	事業の効果	1	主催事業参加人数(延べ人数)	人	1,131	1,057	3,356	1,000(オンライン含む)			
		2	来館者数	人	中止	中止	中止	500			
		3	出展者数	人	1,207	中止	中止	500			
	事業効果に関する外部要因		新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に指定されたことによる南棟貸館18時～21時(令和3年5月6日から8月1日、10月1日から11月30日、令和4年3月22日～3月31日)また、緊急事態宣言により休館(令和3年8月3日～9月30日)、まん延防止等重点措置区域となり休館(令和4年1月21日から3月21日)により各講座や事業を中止。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となったことや、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館などがあり、講座・イベントが中止となった。公民館に集まったの講座の実施ができないことから、動画配信による学習講座を企画し、4講座を配信合計3,356回視聴があった。									
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		21,814	17,642	17,394	19,023			
	決算額			千円		20,866	13,611	14,469			
		特定・その他財源(使用料)	千円		1,819	465	337				
	一般財源		千円		19,047	13,146	14,132				
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	5,758	使用料及び賃借料	768					
			委託料	7,067	備品購入費	383					

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館の目的・事業が示されており、実際生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を市として行うことは妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。しかし、3年度においては、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となり、公民館に集まっていた講座の実施が出来ないことから、動画配信による学習講座を実施。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	先進事例を情報収集し事業の効率性を高めていくことができた。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館の運営に関する事業計画は公民館運営審議会の意見を聞いて教育委員会が決定している。また、受講者から材料に係る経費は徴収し、受益者負担としているため適切である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となり先行きが見通せない状況の中、公民館に集まっていた講座の実施が困難となったため、動画配信による学習講座を実施。なお、活動団体の公民館離れが懸念される。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	4年度における取組のPRと方向性	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となっておりますが、公民館が地域における住民同士の交流や社会教育の拠点であることを踏まえ、学習講座の場所や時間帯等を調整することで実施。また、館に来館しなくても従来行ってきた講座を在宅でも受講することが出来るよう、動画配信による講座を昨年度に引き続き実施。ならびに感染拡大防止の対策として、窓口での接触感染リスクや、館内の過密解消などの対応としてオンライン予約システムを導入。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後も、中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想を踏まえ、研修会等への積極的な参加により職員の専門性・資質の向上や市民ニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館が地域づくりの拠点となるような事業の展開を図ります。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中央公民館整備事業費						所管課等	部 局	教育部			
									課等・班	中央公民館・管理事業係			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-3225	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	c_kominkan@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	中央公民館整備事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例				
	直接の対象者 (～に対して)	市民						最終的な受益者	市民				
事業目的 (～という状態にするために)	社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。												
具体的な事業内容 (～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・防火シャッター危害防止装置設置工事 ・北棟トイレ改修工事 												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
			施設の老朽化が著しく、市民から施設の改修整備要望が出ている。										
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	事業の実績	1	設計監理業務等	件	0	2	0	2					
		2	施設等改修工事	件	3	9	2	1					
		3											
	事業の効果	1	設計監理業務等	千円	0	3,222	0	5,049					
		2	施設等改修工事	千円	3,680	33,027	9,515	26,895					
		3											
		4											
事業効果に関する外部要因	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に指定されたことによる南棟貸館18時～21時(令和3年5月6日から8月1日、10月1日から11月30日、令和4年3月22日～3月31日)また、緊急事態宣言により休館(令和3年8月3日～9月30日)、まん延防止等重点措置区域となり休館(令和4年1月21日から3月21日)により各講座や事業を中止。												
事業効果の総合分析(達成できたこと)	工事に伴う事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。												
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)						
	(最終)予算額		千円		3,680	37,001	9,845	31,944					
	決算額		千円		3,680	36,250	9,515						
		特定・その他財源(使用料)	千円		0	26,800	6,369						
		一般財源	千円		3,680	9,450	3,146						
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費	9,515									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として市民の生活文化振興上、必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	施設の老朽化は進んでいるが、計画的に施設を改修することにより事業の効率性を高めることができる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にあるが、老朽化した施設補修に関し緊急性の高いものから計画的に改修を実施している。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	中央公民館は、開館から42年(昭和54年11月)余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となっているが、調整し計画的に工事等を実施。市民が公民館を安全に安心して利用できる環境整備とサービスの提供を確保し、居心地の良い、活気ある施設づくりに向けた取組を進めます。				
	事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		開館から42年余り経過し施設や設備の老朽化が著しいことから、八街市教育施設長寿命化計画・中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想・八街市公共施設等総合管理計画を踏まえ、計画的な施設整備を図ります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		図書館管理運営費(施設の維持管理等)						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	図書館・管理係		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	444-4946	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	図書館機能の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例			
									八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者			
	事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理										
	具体的な事業内容(〜を行う)	・契約事務：清掃、警備、自動ドア保守点検、小荷物用昇降機保守点検等の委託業務など契約事務を行う ・会計処理：備品購入、機器の賃借、複写機、トイレ洗浄・静菌システムの賃借、書誌データ使用料などの会計処理を行う ・施設、設備等の簡易な修繕、維持管理を行う ・図書館協議会の開催 ・統計調査の回答を行う										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
		開館日数、開館時間の延長要望が多い										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	1	各種業務委託件数	件	10	10	9	10				
		2	各機器等の賃借・使用件数	件	8	6	7	8				
		3	施設、設備の修繕件数	件	5	11	4	4				
		4	図書館協議会	回	1	2	2	2				
	事業の効果	安心・安全な読書環境を維持することができた										
施設・設備の老朽化によるサービスの低下を修繕により回復した												
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		新型コロナウイルス感染症対策を適切に行い、安心・安全な読書環境を早急に整えることにより、利用者に対して快適なサービスを提供することができた。また、定期契約事務などを計画的に行い、事業をすすめることができた。										
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		29,520	21,499	28,942	24,598				
	決算額			千円		28,253	18,737	26,869				
		特定・その他財源()		千円		217	0	120				
	一般財源		千円		28,036	18,737	26,749					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	5,445	備品購入費	324						
			委託料	4,304								
			使用料及び賃借料	16,625								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	快適な読書環境の整備、維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能を求められている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	図書館運営、管理について、概ね期待通りの成果を得られている。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	新型コロナウイルス感染症対応に追われつつも、限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、予算流用を適切に行い施設の維持管理に努めた。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に問題はないが、公の財産に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めている。今後も、社会情勢を鑑みながら対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を適宜検討する必要がある。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点に立ったサービスを提供した。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	回復しつつある利用状況を念頭に置いて、生涯学習施設として適切な読書環境と新型コロナウイルス感染症対策など利用者が安心してサービスを利用できる環境を整備する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		アフターコロナ、ウィズコロナ下で、市民が安心、安全で快適に読書ができる環境を整備し維持に努める。すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能の充実を図っていきたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						所管課等	部 局	教育部
								課等・班	図書館・奉仕係	
								電話番号	444-4946	内線
								E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		図書館機能の充実	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者	市民及び市内在勤在学者		
事業目的(〜という状態にするために)	地域の情報拠点として全ての市民が、図書館サービスを受け、必要な資料や情報を入手できるサービスの展開により、市民の情報リテラシーの向上と情報格差の是正を図る。また、子どもに対しては読書習慣の習得のため子どもの読書活動推進計画に基づき、年齢に応じた子どもの読書環境(人的環境も含む)の整備を図る。									
具体的な事業内容(〜を行う)	市民が自律的に判断、行動するために必要とする資料の計画的な収集を行うとともに、市民一人一人に対応した適切な資料提供を行う。専門職である司書が参考図書やデータベース、インターネット上の情報検索を用いて必要とされる資料を効率的に入手し市民の調査研究を援助するレファレンスサービスを行う。子どもの読書習慣習得のため、図書館内外でのおはなし会や保護者への働きかけを行う事業の充実とさらなる図書館利用の促進のため映画会等、集会事業を実施する。図書館に来館しにくい地域の高齢者や子どもなどの交通弱者のために移動図書館事業を行うとともに、サビエ図書館を活用し、障がい者への郵送サービスや宅配、対面朗読も要請に応じ実施する。また、地域の読書活動を支援するため、団体貸出や団体の事業に司書を派遣する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	令和4年1月に実施した利用者満足度アンケートでは、コロナ禍で実施できなかったライブラリーコンサートなど事業の再開、新刊書や専門書等資料の充実、施設のバリアフリー化、乳幼児を連れてきやすい環境整備、DVDやCD、雑誌のタイトル数の増加等が挙げられた。							
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	事業の実績	1	図書購入冊数	冊	6,217	5,881	5,654	5,100		
		2	おはなし会の開催数	回	59	25	41	62		
		3	講座、映画会の開催数	回	175	60	90	106		
		4	電子書籍の購入数	冊	-	-	1,136	350		
	事業の効果	1	図書貸出冊数	冊	238,779	196,366	222,587	227,000		
		2	おはなし会の参加者数	人	695	168	217	310		
		3	講座、映画会の参加者数	人	1,638	171	240	283		
		4	司書派遣事業参加者数	人	1,397	430	787	770		
		5	図書館ホームページの閲覧数	回	43,582	43,582	71,410	75,000		
事業効果に関する外部要因		緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置適用により、制限付きの利用、講座や映画会等の中止や人数制限付きの開催を余儀なくされ、また利用者自身の感染症に対する意識も、図書館サービスの提供に支障を来す要因と考えられる。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		利用者満足度アンケートを実施し、図書館の利用者を中心とした満足度や要求をある程度知ることができた。まだコロナ以前には及ばないが、おはなし会や映画会等の開催数が増えたことにより、徐々に参加者が戻ってきている。非来館型の電子図書館を導入したことによりサービスの幅が広がった。								
④事業コスト	(最終)予算額		千円	12,473	12,534	12,508	11,263			
	決算額		千円	12,449	12,461	12,380				
		特定・その他財源()	千円	3,854	2,037	3,333				
		一般財源	千円	8,595	10,424	9,047				
	3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	1,254						
		役務費	817							
		備品購入費	10,295							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	コロナの影響による休館はなかったものの利用に対する制限が多い中で利用者が戻ってきていること、コロナ禍の市民の経済状況を考慮するとニーズはより高くなってくものと考えられる。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	図書館は市民のだれもが利用でき、生涯学習を支える社会教育施設であり、今後さらに広がる市民の情報格差の是正や高齢者を中心とした交通弱者を含め、図書館利用に支障のある人へのサービスを他の部署と連携しながら模索するなど、市の関与は妥当であり、必要である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	次第に8割強の利用が戻ってきた。映画会やおはなし会等の開催数が増え、参加も徐々に回復しつつある。小学生を中心とした図書館見学も実施できるようになり、300人以上の子どもが来館した。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な予算執行を行っている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。(図書館法第17条)	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	利用は、コロナ以前に戻りつつあり、利用者の期待も大きい。人口、子どもの減少の中ではあるが、子どもの新規登録者の確保と、年々増加していく高齢者の利用やそのサポートも重要な課題となってくる。電子図書館などの非来館型サービスの充実を図りながら今後の図書館サービスの方向性について考察していきたい。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	A		
		B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	A		
4年度における取組のPRと方向性		図書館の基本的なサービス内容、既存の各種事業、電子図書館サービス等について市と図書館のホームページを有効に活用するとともに、やちまたメール配信サービス、図書館ツイッター、広報やちまた等それぞれの年代に応じた方法を使い、可能な限り発信回数を増やし、きめ細かいPRを効果的にしていきたい。また、第2次子どもの読書活動推進計画策定の準備や移動図書館の今後のあり方について検討したい。					
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		新型コロナウイルス感染症及び図書館に来館が困難な方、障害がある方に対するサービス充実のため、非来館型の電子図書館を開始した。定期的に利用者アンケートを実施し、利用者の満足度や要求を知り、従来の来館型の紙ベース資料とのバランスを考慮し、今後のより充実した資料収集方針を確立していく。市民の要望としては、カフェや講座の再開や集会事業に対する要望もあり、市民が中心となり集える生涯学習施設の1つとしての機能も模索したい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		図書館整備事業費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	図書館・管理係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	444-4946	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
	具体的施策	社会教育活動の推進									
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	図書館機能の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則		
	直接の対象者 (〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者		
事業目的 (〜という状態にするために)	生涯学習を支える拠点として重要な社会教育施設である図書館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館照明設備改修工事設計 ・図書館高天井照明等改修工事監理 ・図書館高天井照明等改修工事 ・図書館電話設備更新工事 										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
			老朽化した施設への改善要望(照明設備、インターロッキング、トイレの洋式化)や、エレベーターの設置(バリアフリー化)について意見が寄せられている。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	1	工事設計業務	件	1	1	1	0			
		2	設計監理業務	件	1	0	1	0			
		3	施設等改修工事	件	3	0	2	2			
	事業の効果	1	工事設計業務	千円	2,689	1,078	2,035	0			
		2	設計監理業務	千円	2,178	0	825	0			
		3	施設等改修工事	千円	61,713	0	21,164	33,732			
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		図書館高天井照明等改修工事は期間内に完了することができた。 図書館照明設備改修工事設計についても期間内に完了し令和4年度当初予算に盛り込むことができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		73,323	1,078	24,123	33,732			
	決算額		千円		69,151	1,078	24,024				
		特定・その他財源(使用料)	千円		55,300	800	20,700				
		一般財源	千円		13,851	278	3,324				
	3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		委託料		2,860						
		工事請負費		21,164							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として生涯学習を推進するうえで必要不可欠な施設である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	現代社会は知識基盤社会であり、市民の課題解決を支える拠点としての図書館の役割は重要性を増しており、サービスを提供するための施設を市が維持管理することは妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	老朽化した施設の早期改善・計画的な改修は最も有効な手段であり、概ね期待通りの成果を得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	総合計画や長寿命化計画等の改修計画を元に事業をすすめることにより、効率性を高めることができている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	計画的に改修を進めているが、突発的な修繕工事が必要になるケースが増え、費用が増加傾向にある。調達には一般競争入札を基本としてコストの削減を図っている。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和3年度は高天井照明及び非常灯改修工事を行った。また4年度に工事を実施する高天井以外の照明設備工事の設計をすすめた。関係各課や設計事務所との調整を行い事業を完了し、予算化できた。老朽化による修繕箇所増加は市全体に当てはまることであり、修繕の優先順位、予算の確保等関係各所との調整が一層求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	令和3年度に行った図書館高天井照明等改修工事以外の場所の照明設備更新工事を行う。また、コロナ地方創生臨時交付金を活用して換気設備の更新工事を行い生涯学習施設として適切な読書環境と利用者が安心してサービスを利用できる環境を整備する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	経年劣化に伴い修繕箇所が多くなっている。総合計画、長寿命化計画等各種計画に沿って改修工事を進め、快適に読書ができる環境を維持する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
①事務事業の概要	事務事業名	視聴覚教材費						所管課等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	図書館・管理係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	444-4946	内線	
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
	直接の対象者 (〜に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (〜という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	・視聴覚機材・教材の購入整備及び維持管理										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	機材の購入	台	6	3	5	-					
		教材の購入	本	0	1	1	-					
	事業の効果	機材貸出件数	件	283	107	75	-					
		教材貸出件数	件	13	14	14	-					
		事業効果に関する外部要因	新型コロナウイルス感染症により各団体での機材教材の利用が減少したと考えられる。									
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)	視聴覚機材については適正な管理、維持により、必要とされる機材を必要としている団体に提供することができた。										
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	339	309	309	-					
	決算額	特定・その他財源()	千円	150	194	265						
		一般財源	千円	150	194	265						
	3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	21								
		備品購入費	244									

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	特に、官公庁、ボランティア団体等各種団体からのニーズは高い。		B	
		市の関与は妥当ですか	a	他に類似サービスを提供する機関がないため適切である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	c	機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるが、教材の貸出効果は薄い。		C	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	事業効率の向上については平成30年度に図書館業務として統合を図った。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の社会教育を推進するうえで、公平性に問題はない。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	利用団体等の要望を維持するため、事業の必要性を認め、図書館業務として事業を継続していく。		B	
	外部評価						
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	B		
				評価者 2	B		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	4年度における取組のPRと方向性	令和4年度は予算も図書館管理運営費に統合し完全な事務事業統合を行う。機材・教材の有効活用を図るとともに、魅力ある視聴覚機材及び教材を収集するための選定資料を確保し管理運営に努める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		引き続き、内容が古くなった教材・老朽化した機材の整理を行うとともに、社会情勢に見合った事業内容とするための整備を行いたい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
① 事務事業の概要	事務事業名	郷土資料館管理運営費					所管課等	部 局	教育部	
								課等・班	郷土資料館	
	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1726	内線	
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	kvodo@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	文化財の保護・継承							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	郷土資料館の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例		
	直接の対象者(〜に対して)	市民のみならず、来館される全ての方々					最終的な受益者	市民及び来館者		
	事業目的(〜という状態にするために)	市内内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まること、そして調査・研究に寄与することを目的とする。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・八街市郷土資料館のあり方庁内検討会及び作業部会において、整備の方向性を決める。 ・誌上企画展『“やちまたの偉人”前山清一郎』を開催する。 ・出前授業の開催 ・出前講座の開催 ・写真のデジタル化 ・開架図書の合冊上製本								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	来館者等からの意見、「八街市郷土資料館の今後の在り方に関する要望書」							
			・(資料館解体中)新たな建物が建てられるのか、是非とも新資料館を建設して欲しい。 ・収蔵資料は「市民の財産」であるからこそ、適正な施設で管理の下、市民にとって有益な活用が常に来るように、一体化した施設が望ましい。 ・まちづくりの拠点、観光の拠点ともなり得る郷土資料館の将来性を考えたとき、新規に郷土資料館を建設することは重要になってくる。							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
		企画展の開催数	回	0	0	1	0			
		郷土資料館の団体見学	回	5	0	0	0			
	事業の効果	市内各学校への出前授業	回	10	1	2	5			
		年間の来館者数	人	1,680	264	673	1,000			
		企画展開催中の来館者数	人	0	0	0	0			
		郷土資料館の団体見学者数	人	175	0	0	0			
	出前授業の参加者数	人	382	89	71	100				
	事業効果に関する外部要因	令和3年度から中央公民館2階中会議室を利用して展示業務を再開したことで、来館者数は戻りつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、緊急事態宣言の発令及びまん延防止重点措置により伸び悩んだ。同様の要因で、出前授業の依頼も大幅に減少した。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	令和3年度は、中央公民館2階中会議室で常設展示業務を再開した。また、例年行っていた企画展の代替として誌面上での企画展『“やちまたの偉人”前山清一郎』を開催し1,000部発行した。その他、八街市郷土資料館のあり方庁内検討会議を設置し、今後の郷土資料館について適した立地に、適切な設備を備えて整備していくことを決定した。								
④ 事業コスト	区分	単位	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	(最終)予算額	千円	2,982	4,308	6,830	1,728	1,353			
	決算額		千円	2,791	4,188	6,806	1,716			
		特定・その他財源()	千円	54		4,100				
		一般財源	千円	2,737	4,188	2,706	1,716	1,353		
	3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		旅費	2	委託料	567	負担金	5		
			需用費	553	使用料及び賃借料	138				
			役務費	55	工事請負費	396				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	若年層から高齢層まで幅広い年齢層から求められる施設である。また、令和元年の台風被害以後、早期の建て直しを望む意見を受けている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で出前授業・講座の実施教も減少してしまったが、学校・市民からの依頼は例年と同様に受けている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	正しい八街の歴史を多くの方々々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示、出前授業・講座に反映できるので妥当と思われる。その他にも蓄積した情報を、広く提供できることから妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	c	展示業務を再開したものの、スペースが狭いことから例年行っている企画展を行えなかったことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から来館者は伸び悩んだ。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	来館者に満足していただけるよう、限られた予算の中で展示方法などに常に工夫をしている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和3年度は常設展示業務を再開させ、例年の企画展に代わる誌上企画展を開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症に係る諸制限により、来館者は解体以前には戻っていない。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	市制施行30周年記念誌のPR展示や、各種講座・展示を開催し、不特定多数の市民に郷土の歴史に興味を持ってもらえるよう、そして来館者数を増やせるように努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	八街市郷土資料館のあり方庁内検討会議において、具体的な整備内容・方向性を決定する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		市史編さん費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	郷土資料館		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1726	内線	
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvodo@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	文化財の保護・継承										
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	市史編さん事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公文書館法・公文書等の管理に関する法律 八街市史編さん委員会条例			
直接の対象者 (〜に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々						最終的な受益者	市民、八街の歴史に興味のある方々				
事業目的 (〜という状態にするために)	八街市内ならびに市外に残されている八街に係る古文書など、全ての史・資料を調査研究し、八街の歴史を明らかにする。また、明らかになった八街の歴史を、常設・企画展示や『市史』などの刊行物を通じて、広く一般に公開し、後世に伝えていく。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・八街市史編さん委員会 ・八街市史編さん委員会 近世専門部会 ・八街市史編さん委員会 近現代専門部会 ・八街市史関連の図書の刊行 											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	「八街市郷土資料館の今後の在り方に関する要望書」 展示業務について、令和3年4月から中央公民館の二階中会議室で仮展示を再開するとのことですが、これまでの資料館の約1/3の面積であり、資料館としての機能が十分に発揮される状況ではない。(中略)八街市民憲章に謳われている「郷土を愛し、文化のかけり高いまち」を実現するためにも、早急な郷土資料館の建設を要望いたします。										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	31(元)年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	1	2	1	2				
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	1				
		近現代専門部会開催日数		日	1	1	1	1				
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	4	4	5	4				
近世専門部会委員のべ活動日数		日	44	35	15	45						
近現代専門部会委員のべ活動日数		日	68	3	27	45						
事業効果に関する外部要因	昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令及びまん延防止重点措置により、活動日数が大幅に減少した。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	近世専門部会は、秋葉藤一家文書の目録作成、川崎堯純家文書の整理作業及び目録作成作業を行った。 近現代専門部会は大関区有文書や前山家文書の目録編成作業を行った。 その他市制施行30周年記念誌『写真にみる八街の150年』の刊行作業を行った。											
④ 事業コスト	区分		単位	31(元)年度	2年度	3年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	2,572	1,834	3,471	2,578					
	決算額			千円	2,537	1,609	3,444					
		特定・その他財源()		千円		4,100						
	一般財源		千円	2,537	2,706	3,444	2,578					
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	25	役員費	675						
			報償費	541	負担金	4						
			需要費	2,199								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内から新たに発見された古文書等について調査研究を進め、八街の歴史説明が深まれば、さらに市民のニーズが高まると思われる。		A
		市の関与は妥当ですか	b	市の歴史を明らかにする作業であるため、直営で実施すべきである。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成23年度に「図解八街の歴史」を刊行し、幅広い世代・年齢層の方に八街の歴史について知っていただいた。これは郷土資料館の来館者数の増加の要因の1つといえる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、永続的に作業を続ける必要がある。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	年々、市史編さんの対象となる調査研究が進展していることで、八街市に関する史実の発掘が広がりつつあり、展示内容の充実や各種講座に活かすことができる。今後も継続的な取り組みが必要であるが、さらなる調査結果の深化と刊行スピードをあげるためには、全体的に予算不足である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	昨年度に引き続き、近世専門部会では、『八街市史 資料編 近世三』の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、『八街市史 資料編 近現代一』の刊行に向け調査研究を進める。事務局側においても各部会の『資料編』で必要となる市内所蔵資料について、悉皆調査を進め、古文書の収集・撮影・整理を進めていく。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		『八街市史 資料編』の刊行に必要な郷土資料館収蔵資料の内、整理目録化が進んでいない資料群があり、それらを整理するには現状よりも活動日数の増加が必要と考える。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要															
事務事業名		学校開放推進費						部 局		教育部					
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想				所管課等		課等・班		スポーツ振興課・振興係			
		施策の大綱		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号		443-1465		内線	
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		生涯スポーツの推進				E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp			
		実施計画		開始		2020		終了		2024		主な計画事業		運動を通じた健康づくりの支援	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則					
直接の対象者 (〜に対して)		市民						最終的な受益者		市民					
事業目的 (〜という状態にするために)		八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。													
具体的な事業内容 (〜を行う)		市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。													
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施															
③ 実績・成果		区分		単位		元年度		2年度		3年度		4年度(目標)			
		事業の実績		学校施設開放(屋内運動場)		施設		16		16		16		16	
				学校施設開放(屋外運動場)		施設		13		13		13		13	
				プール開放(八街北中学校、八街南中学校)		施設		2		0		0		0	
		事業の効果		学校開放利用者(屋内運動場)		人		136,229		10,855		29,878		172,000	
				学校開放利用者(屋外運動場)		人		31,363		19,835		5,497		38,000	
				プール開放利用者(実人数)		人		814		0		0		0	
事業効果に関する外部要因															
事業効果の総合分析(達成できたこと)		八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体育館、武道場、校庭の開放の利用制限を行い、プール開放については中止とした。													
④ 事業コスト				単位		元年度		2年度		3年度		4年度(目標)			
		(最終)予算額		千円		3,417		249		249		249			
		決算額		特定・その他財源()		千円		3,349		193		208			
				一般財源		千円		3,349		193		208			
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費		18		使用料及び賃借料		190							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の生涯スポーツの普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。	A		
		市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。	A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。	A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	A		
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、耐震工事による利用停止など団体の利用箇所制限がされる。	A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	4年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、学校だより等による広報を依頼。今後においてもPRに努める。体育館、武道場、校庭の開放については、登録制による利用となるため、HPを活用しPRに努める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握、整理し、効率を図ることが必要である。また、本年度、プール開放については、試験的に民間施設を活用した開放を実施予定。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		保健体育総務費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	スポーツ振興課・振興係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市スポーツ推進審議会条例 八街市スポーツ推進委員に関する規則		
	直接の対象者 (～に対して)	スポーツ関係者						最終的な受益者	市民		
事業目的 (～という状態にするために)	市のスポーツ推進を図るため、指導者の育成推進等										
具体的な事業内容 (～を行う)	・スポーツ推進審議会委員、スポーツ推進委員報酬 ・印旛郡市体育協会負担金支出等 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出等										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	事業の実績	スポーツ推進審議会会議		回	1	0	0	1			
		スポーツ推進委員会会議		回	5	4	3	5			
		スポーツ推進委員活動		回	60	18	16	68			
	事業の効果	スポーツ推進審議会会議		回	1	0	0	1			
		スポーツ推進委員活動		回	60	18	16	68			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。 ・スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問に応じスポーツ推進の重要事項について、調査審議し、教育委員会へ建議している。 ・スポーツ推進委員については、ピーナッツ駅伝大会をはじめとする各種大会等において、競技役員として活躍している。 また、ノルディック・ウォークをはじめとしたニュースポーツの推進や体験教室などの各種教室等で講師として活躍している。									
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	4,418	2,400	1,909	3,382				
	決算額			千円	4,044	1,935	1,482				
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	4,044	1,935	1,482					
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	570	使用料及び賃借料	150					
			需用費	236	負担金及び補助金	459					
			役務費	44	公課費	23					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ推進に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ推進の重要施策を調査審議・決定するスポーツ推進審議会会議、各行事等役員に関わるスポーツ推進委員会は、市民の生活に直接関係があり、スポーツ振興や健康づくり等のためにも必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ推進の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ推進委員会会議3回実施した。本市スポーツ推進に係る基本的経費となっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ推進審議会会議については、必要時に招集し審議を行っている。会計年度任用職員を雇用・活用し業務を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	スポーツ推進審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ推進、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ推進審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。また、市民のニーズにあった健康づくり等、スポーツの推進、振興を遂行していく。		A
	外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツ推進委員会等の各種団体の意見を収集し、今後のスポーツの推進に役立てていく。また、現状を把握し、スポーツ推進委員等のマンパワーを活用し、本市のスポーツ推進を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	スポーツ推進審議会は、市スポーツ推進の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進や運動を通じた健康づくりの支援等についても、さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ推進を図っていくことが必要である。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、市民の生涯スポーツの推進への貢献が大きいため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市主催事業として、妥当であると考ええる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも有効と考えられる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各事業前の関係団体等との打合せや実施後反省会等により翌年度の事業前に念入りに協議を行い、毎年実施につないでいる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	市広報紙やホームページにより市全体に啓蒙を図っているため、公平性は保たれている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を実施し、前回の反省等協議を行い毎年実施している。今後、更に市民のニーズに応じていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	各関係機関及び団体との会議等の場や市広報紙・ホームページの活用によりPRに努める。また、各団体との信頼並びに協力体制の強化				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興とスポーツを通しての健康づくりに必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	体育施設維持管理費						所管課等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	スポーツ振興課・振興係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1465	内線	
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (〜に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (〜という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・(市営運動場、ゲートボール場、グランドゴルフ場)										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	グラウンド等光熱水費	千円	4,767	4,850	4,975	4,850					
		グラウンド等土地賃借料	千円	14,210	14,210	13,689	13,508					
		グラウンド等施設保守管理委託料	千円	6,810	6,820	7,933	7,687					
	事業の効果	社会体育施設利用状況	人	64,561	37,771	18,404	80,000					
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場)										
		社会体育施設使用料	千円	616	466	517	616					
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	社会体育施設を維持管理し、市民等が安全に利用できるよう努め、心身の健康と生涯スポーツの推進に寄与した。											
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	27,184	29,083	28,992	27,117					
	決算額		千円	26,944	28,706	28,968						
		特定・その他財源()	千円	616	411							
		一般財源	千円	26,328	28,295							
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	6,274	使用料及び賃借料	13,689						
			役務費	342	工事請負費	600						
			委託料	7,933	原材料費	130						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	社会体育施設管理の適正な維持管理は利用者の安全を保っている。	A
		市の関与は妥当ですか	a	社会体育施設の老朽化により、市の維持管理は不可欠である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	保守など委託契約については、入札等により業者の選定を図ることにより効率的に維持管理している。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 緊急性・安全性を考慮し、順位を決め実施することにより公平に実施している。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設管理等重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう各施設の状況を把握、管理していかなければならない。	A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	4年度における取組のPRと方向性	安全管理及び施設の維持管理に努める。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 社会体育施設の維持管理は老朽化等により継続して実施していかなければならない。さらに状況を把握し、危険性及び緊急性から修繕等優先順位を決め、維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画、要望していく必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		スポーツプラザ管理運営費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	スポーツプラザ・管理係		
									電話番号	443-8003	内線	
									E-mail	sports_plaza@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	スポーツ施設の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例			
直接の対象者(〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民				
事業目的(〜という状態にするために)	施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。主として当施設の運営及び設備の維持・管理を適切に行うことによりスポーツ施設としての水準を維持することを目的とする。											
具体的な事業内容(〜を行う)	スポーツプラザ各種施設(体育館・テニスコート等)の運営及び清掃・警備・夜間の施設管理などの業務委託並びに老朽箇所の修繕を行った。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	事業の実績	委託関係	千円	10,751	11,351	10,722	11,681					
		修繕関係	千円	638	677	788	723					
	事業の効果	施設の安全性を維持した										
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した										
		施設利用件数	件	6,928	5,407	6,042	6,126					
		施設利用人数	人	95,718	59,911	76,340	77,323					
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)	おおむねサービス提供はできている。しかしながら、経年劣化による大規模な修繕箇所が増加しており、将来的なサービス提供の低下は避けられないと考える。また、卓球台やバスケットゴール・トレーニング器具などの備品や、バレーボール・バドミントン等のネットなどの消耗品も劣化が著しいため、随時入替が必要である。											
④事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	25,491	23,030	22,092	21,531					
	決算額		千円	24,685	20,959	21,341						
		特定・その他財源()	千円	5,562	4,244	4,265						
		一般財源	千円	19,123	16,715	17,076						
	3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	6,605	使用料及び賃借料	3,307						
		役務費	528									
		委託料	10,722									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	個人・団体からの問合せや予約も多いことから、市民からのニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	各施設の利用状況については微増微減はあるものの、概ね成果は得られている。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の状況を鑑みると、効率向上・コスト低減の余地はない。前述のとおり経年劣化が著しく、大規模修繕等が必須である。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A				
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、効率的な施設の維持管理を実施している		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	利用者が安心安全に社会体育を行うため、予算の範囲内で施設の維持管理及び修繕等を行い事故等が起こらないように努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		現在は部分的な改修に留まっているが、竣工後30年経過しているため大規模な修繕が必要であり、それにより将来的な維持管理費の抑制が図られる。 また、各種競技等に使用する備品関係においても、随時入替を行い、良好なサービス提供を図っていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		スポーツプラザ整備事業費					所管課等	部 局	教育部	
								課等・班	スポーツプラザ・管理係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-8003	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	sports_plaza@city.yachimata.lg.jp	
		具体的施策	生涯スポーツの推進							
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	スポーツ施設の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	主として社会体育施設としての水準を維持するために必要な改修等を行うことを目的とする。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	以下の工事等を行った。 ・アリーナの床改修及び照明設備のLED化工事の設計業務 ・軒天井の破損部分の修繕工事 ・トイレの洋式化及びアルコールディスペンサー設置									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	事業の実績	床・照明改修工事関係	千円			3,179	153,692			
		軒天井修繕	千円			651				
		トイレ改修工事	千円			13,200				
		浄化槽曝気ブロー交換工事	千円	1,182						
	事業の効果	非常用放送設備改修工事	千円		1,296					
		施設の安定性を維持した								
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	トイレ改修工事により、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図れた。 また、他設備についても経年劣化が激しいため、今後の財政状況を鑑みながら定期的な改修または大規模改修が必要であると判断する。									
④ 事業コスト	区分		単位	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)			
	(最終) 予算額		千円	1,182	1,296	18,133	153,692			
	決算額			千円	1,182	1,296	17,030			
		特定・その他財源()	千円			13,200				
	一般財源		千円	1,182	1,296	3,830				
3年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			工事請負費 13,851							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	経年劣化も激しいことから、市民のニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	おおむね効果は得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	入札による工事請負のため、効率化は図られていると考える。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、安全で効率的な施設の維持管理を実施している		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	開場から30年が経ち施設の老朽化が顕著のため、計画的に改修を進めていく。また、利用状況、施設環境を考察しながら必要な大規模改修を中期的に計画し、利用者が利用しやすい施設になるよう務める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 竣工から30年経過しているため、大規模な修繕箇所が多々あり、財政状況を踏まえながら定期的な改修が必要であると判断する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		学校給食センター一般管理費						所 管 課 等	部 局	教育部			
									課等・班	学校給食センター・管理係			
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	444-1181	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校給食の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則				
直接の対象者(～に対して)	・幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒・保護者等						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者等					
事業目的(～という状態にするために)	・園児、児童、生徒等に安定した給食を供給し、給食費の公平な徴収を行う。												
具体的な事業内容(～を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る会計年度職員の利用等 ・給食費収納管理システムの活用 ・給食管理システムの活用												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
			・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い。										
Do 事務事業の実施													
③ 実績・ 成果	区分		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)						
	事業の実績	1	給食費支払督促件数	人	11	8	14	10					
		2											
		3											
	事業の効果	1	学校給食費収納率	%	97.06	96.98	97.30	98.00%以上					
		2	生活習慣病予防検診事後指導者数	人	38	61	51	30					
		3											
		4											
	事業効果に関する外部要因	・徴収対策について、子育て支援課(児童手当)、学校教育課(就学援助)、社会福祉課(生活保護)及び各学校からの協力											
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	給食費収納率は、令和2年度に給食費の納期限を1ヶ月先(配食月の月末から配食翌月の月末)に変更したことでわずかに低下したと考えられたが、令和3年度は、支払督促を含めた納付の催告、また変更した納期限が周知されてきたこともあり、前年度より上昇した。											
④ 事業 コスト	区分		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	6,696	6,272	5,855	4,844	5,457					
	決算額		千円	6,314	5,757	5,401	4,586	-					
		特定・その他財源()	千円	25	17	1,055	30	-					
		一般財源	千円	6,289	5,740	4,346	4,556	-					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	774	使用料及び賃借料	423							
			役務費	1,300	償還金利子及び割引料	140							
			委託料	1,932									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法第4条において学校給食事業は義務教育諸学校の設置者の任務とされている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・学校教育の充実を図るため、給食の円滑かつ安定的な供給は図られた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第一・第二両調理場の一括民間委託を令和2年度8月より実施。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	給食費収納率は、令和2年度に給食費の納期限を1ヶ月先(配食月の月末から配食翌月の月末)に変更したことでわずかに低下したと考えられたが、支払督促を含めた納付の催告、また納期限が周知されてきたこともあり、前年度より上昇した。給食費の請求管理が煩雑化しており、システム改修などを含めた改善が必要である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・令和3年度の実績を踏まえ、令和4年度においても、給食費収納業務の円滑な運営に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・給食費収納管理システムを活用し、今後もより一層の未納対策を進める ・より効率的な徴収方法を検討する				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		学校給食センター調理場維持管理費						所 管 課 等	部 局	教育部			
									課等・班	学校給食センター・管理係			
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	444-1181	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校給食の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則				
直接の対象者(〜に対して)							最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者等					
事業目的(〜という状態にするために)	・給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等の維持管理を適切に行う。												
具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センターの施設、設備等の改修計画 ・破損箇所の早急な修繕対応 ・施設設備等の状況確認												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)						
	事業の実績	1	維持管理対象設備・機器数	機	12	12	12	12					
		2											
		3											
	事業の効果	1	平均配食日数(小)	日	163	164	184	184					
		2	平均配食日数(中)	日	167	162	184	184					
		3	調理委託業者からの修理依頼件数	件	44	47	47	47					
4													
事業効果に関する外部要因	・施設の老朽化が著しく早急な改修が求められる状況ではあるが、工程管理(工期など)や予算の確保などの面から、改修可能な施設は限られてしまうため、当然に修繕件数および費用は拡大する傾向にある。令和3年度からは、月に1度、現場主任者会議を実施し、調理器具の不具合や劣化備品の状況などの聞き取り、また、修繕計画や改修計画の報告や竣工の調整など、調理業務従事者等と積極的に意見交換を行うこととした。その結果、現場からの修繕依頼件数が前年度程度に抑制できたと考えられる。												
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた。												
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	49,063	63,934	31,115	56,748	38,876					
	決算額		千円	25,440	23,470	29,414	55,345	-					
		特定・その他財源()	千円	600		5,600	21,600	-					
		一般財源	千円	24,840	23,470	23,814	33,745	-					
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	8,234	使用料及び賃借料	138								
		役務費	533	工事請負費	28,780								
		委託料	17,660										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食業務を適切に管理・運営するためには、施設、設備等の維持管理が必要不可欠である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができています。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の長寿命化のため、八街市学校給食センター中長期整備指針を作成した。今後は、安全な給食の供給を維持するため、この整備指針をもとに、担当課等と協議および施設の改修をすすめていく必要がある。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・安全で安心な給食の供給を続けるためには、老朽化した施設、設備等の適切で計画的な維持管理を図る必要があり、その中には、大規模な改修が必要となる箇所もあるため、予算を拡充させ、適切な修繕および改修工事を行う。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター調理場給食事業費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・班	学校給食センター・管理係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	444-1181	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校給食センターの整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (給食費)						実施根拠	学校給食法 八街市学校給食費徴収規則		
	直接の対象者 (～に対して)	・学校給食を受ける園児、児童、生徒等						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者等		
事業目的 (～という状態にするために)	・児童、生徒の心身の健全な発達のため、食事についての正しい理解と食生活を身につけさせる。										
具体的な事業内容 (～を行う)	・市内13小中学校は、センター調理による給食の供給を、市内3幼稚園は、外部発注により、どちらも安心して質の高い給食を供給する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)				
	事業の実績	1	平均配食数(児・生)	食	4,888	4,679	4,520	4,453			
		2	平均配食数(幼)	食	195	172	116	98			
		3									
	事業の効果	1	残さい率(小)	%	米33.2%・パン12.2% 惣菜等15.5%	米19.6%・パン7.3% 惣菜等13.8%	米21.0%・パン6.5% 惣菜等14.0%	それぞれ前年度比▲1%			
		2	残さい率(中)	%	米29.9%・パン14.4% 惣菜等12.5%	米25.2%・パン14.9% 惣菜等12.9%	米30.8%・パン14.3% 惣菜等14.8%	それぞれ前年度比▲1%			
		3	給食事故件数	件	0	0	0	0			
		4	残さい(牛乳)	%	6.7%	7.5%	8.7%	それぞれ前年度比▲1%			
	事業効果に関する外部要因		・第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託している ・第二調理場(調理業務)を平成28年度より民間委託している (令和2年8月より第一、第二調理場を一括して3カ年契約)								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・安全で安心な質の高い学校給食を配食することができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	473,812	496,509	465,072	499,812	491,770			
	決算額		千円	470,469	474,644	422,727	487,354	-			
		特定・その他財源()	千円	261,417	244,077	198,087	266,937	-			
		一般財源	千円	209,052	230,567	224,640	220,417	-			
3年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	275,811	委託料	165,774					
			(うち賄材料費)	(232,117)	備品購入費	45,075					
			役務費	694							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食事業は児童、生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解と食生活を身につけることなどを目的としている		A
		市の関与は妥当ですか	a	・配食日数や配食内容等を日常的に詳細に管理し、適切に供給している		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・児童、生徒が、心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができたと考えられる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・材料の選定や献立の工夫等により給食内容の充実が図られており、現状でのコスト削減は困難。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	・保護者より賄材料費を給食費として徴収している。 ・現年分の未納率は約3%となっている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校給食を、安定して供給することができた。 エネルギーの栄養価が、学校給食実施基準に記された摂取基準を下まわっているが、限られた予算のなか、できる限り児童生徒に喜んで頂けるように努めた。 物価が高騰している状況下で、今後は、更なる努力が必要である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	4年度における取組のPRと方向性	・給食費は賄材料費に全額充当しているが、未納者も一定数いることから、負担の公平性も踏まえて、未納対策を行う。 ・食材や燃料等の高騰の懸念は常にあるため、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の質が低下しないよう努める。 ・第一・第二両調理場の調理業務については、引き続き民間委託を実施し、運用を図る(令和5年7月までの3カ年契約)				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	燃料費や食材費が高騰する懸念があることから、材料選定や献立の工夫等により、給食内容や質の低下が起きないように配慮していく。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



「ヒーちゃん ナっちゃん」©八街市

八街市のイメージキャラクター